授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
文章表現	演習	2	必修	必修	必修	1年・後期	先川 尚美
科目コード SGAAB10001							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。
授業の目的・概要	学生時代及び社会生活において、小論文やレポート、報告、伝達、記録等、自分の考えや、伝えるべき事柄を的確な文章によって表現することが求められる。また、相互のコミュニケーションを取る上で、音声言語による表現力は必要不可欠な能力と言える。授業では、基本的な日本語の表現技術、伝える力を身に付けることを目的とし、実践的な練習を通して、文の構造、分かりやすく明快な文章を書く技術、敬語表現、ビジネス文書、手紙の書き方を学ぶ。更に、日本語音声の特徴を踏まえ、相手に理解される話し方を学ぶ。
到達目標	① 分かりやすく簡潔な文章表現ができるようになる。 ② 音声表現の基礎を学び、伝達手段としての理解を深める。 ③ 日本語の敬語表現を理解し、正しく表現できる。 ④ レポート、小論文、グラフの書き方を理解する。 ⑤ 手紙、ビジネス文書、履歴書、メール等が正しく書けるようになる。
授業の進め方	様々な資料、例文等を題材に、日本語の文章表現を多角的に学ぶ。 課題に則した文章を書くという実践を通じて、文章表現力を養う。 例題を元に、テーマに沿って音声表現を学ぶ。

第 1 回　文章を書く目的
【学修内容】　思考を文章化することの意義を理解し、簡潔な表現と内容要約（新聞記事要約）を学ぶ。
【事前学修】　食物栄養科に関係する新聞記事を探し、目を通す。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを整理し、内容要約に関する課題をまとめる。（2時間）

第 2 回　文の構造Ⅰ
【学修内容】　文章における主語と述語の関係、語順、修飾語について学ぶ。
【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。（2時間）

第 3 回　文の構造Ⅱ
【学修内容】　助詞の使い方、読点の打ち方を理解する。
【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）

第 4 回　文の構造Ⅲ
【学修内容】　接続詞について学び、話し言葉と書き言葉について理解する。
【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）

第 5 回　話し方Ⅰ
【学修内容】　音声言語表現の特徴、発声、発音の基礎を学ぶ。
【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。（2時間）

第 6 回　話し方Ⅱ
【学修内容】　自己紹介と挨拶のことば、説明と報告、電話のかけ方を学ぶ。
【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。（2時間）

第 7 回　敬語表現Ⅰ
【学修内容】　敬語の特徴、尊敬語と謙譲語を理解する。
【事前学修】　これまでに学び普段使っている敬語を再確認し、授業に備える。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）

授業計画	第 8 回　敬語表現Ⅱ 【学修内容】　丁寧語と美化語、敬意表現、敬語の誤った使い方を理解する。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 9 回　文章の書き方Ⅰ 【学修内容】　手紙の書き方について学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 10 回　文章の書き方Ⅱ 【学修内容】　ビジネス文書の書き方について学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 11 回　分析と考察Ⅰ 【学修内容】　グラフ・表の利用と分析を理解する。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 12 回　分析と考察Ⅱ 【学修内容】　レポート、小論文の書き方を学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 13 回　就職活動に向けてⅠ 【学修内容】　履歴書、送り状などの書き方を学ぶ。日本語の語彙を増やす。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 14 回　就職活動に向けてⅡ 【学修内容】　エントリーシート、メールの書き方を学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　確認と総括　語彙を増やす。全授業内容を振り返り、内容を再確認し理解する。 【事前学修】　すべての配付資料に目を通し、まとめ、ファイリングする。（2時間） 【事後学修】　授業全体で学んだことを整理・確認し、まとめる。課題を解く。（2時間）
評価方法	各講義での参考資料を基に筆記試験を実施（80%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教科書	使用しない。 授業プリントを配付する。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
心理学の世界	講義	2	選択	選択	選択	1年・前期	田鍋 佳子
科目コード　SgaaA10002							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養士関係の仕事に限らず、広く活用できるよう、楽しみながら積極的に受講すること。
授業の目的・概要	① 現代社会に生きるため、自分や周りの人間の理解と関係の維持、又は、専門分野の仕事に心理学の知識が参考になると考える。本講義は、人間の心と行動を理解しようとして、欧米で発達し展開されてきた学問を紹介することが主の目的である。 ② 講義は具体的に次の３つの内容で構成される。（１）心理学の概念・用語（２）個人の心的過程（３）個人と集団とのかかわり　これらを中心にし、授業を聴きながらこれらについてノートを取ることが学修にとって重要である。
到達目標	人の基本的認知能力について概観し、個人と個人ないし社会と個人の関係において生じる心理的事象について考察する。その上で、私たち自身が実際に組織や広く社会の中で、よりよいパフォーマンスを生み出すためにはどうしたらよいかを考え、実践へとつなげていく。
授業の進め方	授業は、配付資料に基づき行う。 毎時間、講義内容に関連した課題を課す。

第 1 回　心理学的発想と心理検査法
【学修内容】　様々な心理検査手法を学び、“心理学的に考える”とはどういうことかを理解する。
【事前学修】　自分の体験を振り返りつつ「心理学」とは何か、自分なりの意見をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

第 2 回　感覚・知覚・認知
【学修内容】　人間の基本的な感覚・知覚・認知機能について概観する。
【事前学修】　普段我々が外界の情報をどのように処理しているか、振り返り自分なりにまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

第 3 回　記憶のメカニズム（1）
【学修内容】　記憶の種類と基本的なメカニズムを理解する。
【事前学修】　自分なりの「記憶する」時の習慣や特徴について、振り返ってまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

第 4 回　記憶のメカニズム（2）
【学修内容】　記憶のバイアス・誤りについて理解し、司法面接法を学ぶ。
【事前学修】　うまく思い出せない／記憶が間違っていたなどの自分自身の具体的体験をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

第 5 回　対人スキル
【学修内容】　コミュニケーションにおいて必要な対人スキルを学ぶ。
【事前学修】　他者と上手くいった／いかなかった体験などを振り返り、そのプロセスをまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

第 6 回　ストレスとコーピング
【学修内容】　ストレスの仕組みを知り、疾病との関連を理解し、対処方法を考える。
【事前学修】　自分でストレスだと感じることや自分なりの対処方法について、振り返ってまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

第 7 回　言語と発達
【学修内容】　新生児の言語発達段階を学び、その諸問題やその後の発達について理解する。
【事前学修】　自分自身の乳幼児期の言葉に関するエピソードを養育者から聞き取りまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

授業計画	第 8 回　自己理解の心理過程 【学修内容】　自己概念の種類と形成過程について学ぶ。 【事前学修】　自分自身をどのように捉えているか、改めて見つめ直してまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 9 回　他者理解の心理過程 【学修内容】　他者を理解する際に陥りやすい認知バイアスについて学ぶ。 【事前学修】　普段、他者を理解する際にどのような点に気をつけているか、振り返ってまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 10 回　説得的コミュニケーション（1） 【学修内容】　説得に利用される心理メカニズムについて学ぶ。 【事前学修】　普段他者を説得するときにどのような点に気をつけているか、振り返ってまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 11 回　説得的コミュニケーション（2） 【学修内容】　具体的な説得テクニックと騙されないための予防策を学ぶ。 【事前学修】　他者から意図せぬ説得を受けた体験を思い出し、具体的エピソードをまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 12 回　集団意思決定（1） 【学修内容】　集団で議論する際に陥りやすい問題点について学ぶ。 【事前学修】　集団で議論した実際の場面を思い出し、そのプロセスや特徴についてまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 13 回　集団意思決定（2） 【学修内容】　よりよい意思決定に至るための集団技法を学ぶ。 【事前学修】　前回の講義で学んだ集団意思決定の落とし穴に相当する体験を思い出してまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 14 回　非対面コミュニケーション 【学修内容】　非対面状況でのコミュニケーションの利便性と危険性、デマ・流言に影響を受けるプロセスについて学ぶ。 【事前学修】　インターネットを利用する中で経験した様々な諸問題をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　半期間の講義内容を総括し、今後の生活にどのように活かすか議論する。 【事前学修】　半期間の講義を振り返り、自分自身の生活との関わりについて考える。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
評価方法	課題（提出状況・内容充実度）（100%）
教科書	使用しない。資料を授業時に配付する。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生活と法律	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	髙　野　俊太郎
科目コード　SgAAA10003							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	講義において触れる各種法律は、社会人として、最低限知っておくべきものが大半であるので、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	日本国憲法は、自由権・平等権等の人権規定を定めて、国民に当然保障されるべき権利・自由を高らかに宣言するとともに、それを脅かす国家権力の濫用が行われないような統治機構の仕組みについて規定している。 本講義では、主に国民に保障されている自由権・平等権・社会権等の人権規定につき概説する。その際、憲法違反を争って裁判となった事例・憲法が日常生活に関係する事例等を挙げて、その問題点を学生自身が探求することで、憲法の理念とその重要性につき理解を深めることを目的とする。 また、憲法以外にも、生活を送る上で必要となる法的知識について、具体的事例をあげて紹介、解説を行う。
到達目標	①　法学全般・憲法学の基本的な考え方を理解させる。 ②　法律全般に対する理解を深め、今後の社会生活の一助とさせる。
授業の進め方	毎回必要なレジュメを配付の上、講義形式で授業を進める。
	第　1　回　法全般と憲法の概念について 【学修内容】　法全般と憲法の基本的な考え方を理解するとともに裁判手続全般に対する理解を深める。 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　配付したレジュメ等を復習する。（2時間） 第　2　回　基本的人権総論（人権を保障される者の範囲） 【学修内容】　人権享有主体性（特に外国人の人権）について理解するとともに、裁判員裁判の内容を理解する。 【事前学修】　前回のレジュメを確認し、憲法の考え方を確認しておく。（2時間） 【事後学修】　配付したレジュメ等を復習する。（2時間） 第　3　回　基本的人権総論（人権保障の限界） 【学修内容】　公共の福祉概念に関する理解を行うとともに、債務整理制度について理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（2時間） 第　4　回　二重の基準と法の下の平等 【学修内容】　違憲判断の際の基本的考え方と平等原則について理解し、家事事件の基本を学ぶ。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（2時間） 第　5　回　精神的自由権全般といわゆるDVに対する法的な対応 【学修内容】　自由権と社会権の区別と精神的自由権の重要性について理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（2時間） 第　6　回　報道の自由及び取材の自由と他の利益との調整 【学修内容】　報道の自由等の重要性について理解するとともに、いわゆるセクハラとその法的対応を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（2時間）

授業計画	第 7 回　憲法に規定のない新しい人権（プライバシー権、名誉権）の保障とストーカー対策 【学修内容】　憲法に規定のない人権が保障される理由やその法的構成を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 8 回　信教の自由と交通事故対応 【学修内容】　信教の自由の重要性とその制度的保障である政教分離原則を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 9 回　経済的自由権と規制目的二分論、悪徳商法 【学修内容】　経済的自由権とその制約根拠について理解するともに、悪徳商法への法的な対応を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 10 回　財産権及び国家に対し国民が請求できる権利と労働問題全般 【学修内容】　財産権の構造等について理解するとともに、労働問題についての理解を深める。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 11 回　社会権全般と労働問題全般 【学修内容】　自由権と社会権の区別を行い、社会権全般を理解し、労働問題の理解をさらに深める。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 12 回　教育を受ける権利と民事裁判の基本 【学修内容】　教育を受ける権利の特殊性を理解し、民事裁判の基本的なルールを学ぶ。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 13 回　労働者特有の権利及び子育てとその法的支援 【学修内容】　いわゆる労働三権を理解し、日本における出産・育児への法的支援制度について学ぶ。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 14 回　国民の権利・自由を守るための統治機構の仕組み（三権分立） 【学修内容】　国家権力の仕組みを理解し、それがどのように国民の権利を守っているかを理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 15 回　憲法の重要性についての総括等 【学修内容】　これまでに行った講義の内容を総復習し、憲法全体の理解を深める。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間）

評価方法	筆記試験（100%）
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	実務経験のある教員：検察庁、法律事務所における検事、弁護士の実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
国際文化	講義	2	選択			1年・後期	南部ユンクィアンしず子 ほか
科目コード　SgZZA10004							担当形態：オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	国際社会へ広く目を向けて、楽しみながら積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	国際文化とは、世界の国々に目を向け、その国の歴史、自然、経済、教育等について学びながら、各国の現在の状況を把握し、それを根底として成り立つ文化を理解することである。 他国の文化への理解を深め、柔軟な発想で社会の諸問題に対応できる洞察力や問題解決能力を養うとともに、改めて日本の文化を敬愛する心を育てる。
到達目標	①　世界の国々に目を向け、文化や歴史について理解を深め、国際交流の視点から考察する。 ②　世界各国の異文化とのかかわりについて相互理解する。
授業の進め方	本講義では、ビデオやスライド、外国人講師による授業も含めながら、各国の文化を肌で感じられる講義を通して理解を深める。

第　1　回　　国際文化の概論、ヨーロッパの文化　Ⅰ
【学修内容】　シラバスに沿って授業の概要を説明し、ヨーロッパの文化について理解を深める。
【事前学修】　事前にシラバスに目を通し、授業の主旨について確認する。（２時間）
【事後学修】　授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。（２時間）
第　2　回　　ヨーロッパの文化　Ⅱ
【学修内容】　第1回目の授業内容に引き続き、ヨーロッパの文化について理解を深める。
【事前学修】　前回の授業内容を振り返り、ヨーロッパの国々の文化や歴史について調べる（２時間）
【事後学修】　授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。（２時間）
第　3　回　　ヨーロッパの文化　Ⅲ
【学修内容】　第1回、第２回の授業内容に引き続き、ヨーロッパの文化について理解を深める。
【事前学修】　前回の授業内容を振り返り、ヨーロッパの国々の文化や歴史について調べる。（２時間）
【事後学修】　授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。（２時間）
第　4　回　　日本の文化　Ⅰ
【学修内容】　年中行事と行事食
【事前学修】　日本の年中行事にはどのようなものがあるか、また食とのつながりについて調べる。（２時間）
【事後学修】　授業で学んだ年中行事の中で特に興味を持ったものについてさらに調べる。（２時間）
第　5　回　　日本の文化　Ⅱ
【学修内容】　日本茶の基礎知識：歴史と伝来
【事前学修】　日本茶のルーツや世界の茶事情を調べる。（２時間）
【事後学修】　伝来した茶がその後どのように普及していったかを調べる。（２時間）
第　6　回　　日本の文化　Ⅲ
【学修内容】　日本茶の基礎知識：正しい茶の淹れ方
【事前学修】　日本の主な茶の生産地について調べる。（２時間）
【事後学修】　実際に入れてみた経験をもとに、それぞれの茶の特徴をまとめる。（２時間）

授業計画	第 7 回　日本の文化　Ⅳ 【学修内容】　郷土料理と伝統・地域野菜 【事前学修】　日本の郷土料理について、どのようなものがあるか調べておく。（２時間） 【事後学修】　自分の出身地の郷土料理や特徴ある野菜について調べ理解を深める。（２時間） 第 8 回　アメリカの文化　Ⅰ 【学修内容】　概要、歴史、選挙制度について学ぶ。 【事前学修】　アメリカ合衆国について、地理・歴史など基本情報を調べ確認する。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、地理、歴史、選挙制度について学んだことを復習する。（２時間） 第 9 回　アメリカの文化　Ⅱ 【学修内容】　人々の暮らしについて学ぶ。 【事前学修】　現代のアメリカ合衆国に関するニュースなどを調べ情報収集する。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、アメリカの人々の暮らしについて学んだことを復習する。（２時間） 第 10 回　イスラムの文化　Ⅰ 【学修内容】　イスラム圏の人々と宗教、美術、食文化について学ぶ。 【事前学修】　イスラム教の国々について新聞記事やニュースなどから情報収集する。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、イスラム圏の人々の暮らしについて学んだことをまとめる。（２時間） 第 11 回　イスラムの文化　Ⅱ 【学修内容】　エジプトの歴史、食文化について学ぶ。 【事前学修】　前回資料からイスラム圏の文化を再確認し、エジプトの基本情報を調べる。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、エジプトの歴史や人々の暮らしについて学んだことを復習する。（２時間） 第 12 回　アジアの文化　Ⅰ 【学修内容】　台湾の歴史をオランダ人、明、清、日本と蒋介石の統治を経て今日までの概略を理解する。 【事前学修】　台湾に関する書籍やインターネットの情報に目を通し、日本との関係を考え討論する。（２時間） 【事後学修】　講義の資料について更に調べ理解を深める。（２時間） 第 13 回　アジアの文化　Ⅱ 【学修内容】　今日の台湾の日常生活（特に食、住や音楽）を紹介し認識してもらう。 【事前学修】　台湾に関する書籍やインターネットの情報に目を通し、授業で学んた事を振り返えり討論する。（２時間） 【事後学修】　講義の資料について更に調べ理解を深める。（２時間） 第 14 回　アジアの文化　Ⅲ 【学修内容】　韓国の食文化：年中行事、食文化 【事前学修】　韓国・韓国文化について調べておく。（2時間） 【事後学修】　講義で学んだ内容を復習し、感想や疑問点を書く。（2時間） 第 15 回　アジアの文化　Ⅳ 【学修内容】　韓国の大衆文化：韓国ドラマ、K-POP 【事前学修】　事前に予告した内容について自分で調べる。（2時間） 【事後学修】　講義で学んだ内容を復習し、感想を書く。（2時間）
評価方法	課題（提出状況・内容充実度）（100%）、平常点や受講態度など総合的に評価する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守 。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食科学の基礎	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	山岸 和敏 木野村 美花
科目コード　SgAAA10005							担当形態：クラス分け

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	演習課題等の取組みにより、自己の課題を明確にし、単元毎に問題点を解決しながら受講すること。
授業の目的・概要	人間の健康維持と増進には、人体そのものの構成物質やその担い手である食並びに食生活の科学的・総合的な考察が必要不可欠である。 本講座では、授業を数学分野と化学分野に分け、数学分野では、栄養士として必要とされる数学の基本的知識を理解するとともに、数学的な表現、処理方法を学修し、物事を数理的に考察する力を修得する。 化学分野では、高等学校までに学修した化学の内容を復習し、更に関連する専門科目を理解する上で基礎となる知識、併せて科学的な物事の捉え方と問題解決に必要な考え方を身に付ける。
到達目標	数学分野 栄養士に必要とされる様々な数学的な表現や処理方法を理解し、数理的に考察する力を修得する。 化学分野 化学的知識は、生化学、食品学、栄養学、生化学実験、食品衛生学実験、食品学実験等の理解に必要となることから、１年生前期に基礎知識の修得を目標とする。特に、原子や分子の成り立ち、元素記号や化学式について学修する。
授業の進め方	数学分野：教科書と配付プリントを用いて進める。 化学分野：パワーポイントと配付プリントを用いて進める。
	数学分野 第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。合わせてクラス分けテストを行う。 【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（1時間） 【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（1時間） 第 2 回　数と計算　食品成分表の活用 【学修内容】　食品成分表の使い方について理解する。 【事前学修】　食品成分表、ベーシックデータに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 3 回　式と計算 Ⅰ　栄養計算 【学修内容】　可食部重量の計算、栄養計算について理解する。 【事前学修】　前回、ノートに記載した公式に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 4 回　式と計算 Ⅱ　水の割合、調味の割合 【学修内容】　炊飯の水加減、ゆで物の水量と塩分濃度について理解する。 【事前学修】　水分量、塩分濃度について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 5 回　前半のまとめ 【学修内容】　前半の授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　前半までの授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 6 回　式と計算 Ⅲ　吸水率、吸油率 【学修内容】　吸水率、吸油率について理解する。 【事前学修】　吸水率、吸油率について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 7 回　式と計算 Ⅳ　栄養比率 【学修内容】　栄養比率について理解する。 【事前学修】　栄養比率について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

授　業　計　画	第 8 回　　数学分野のまとめ 【学修内容】　今までの授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 化学分野 第 1 回　　オリエンテーション 【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。 【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（1時間） 【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（1時間） 第 2 回　　物質、元素、周期表 【学修内容】　物質、元素、周期表について理解する。 【事前学修】　物質、元素、周期表について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 3 回　　原子核と電子配置　Ⅰ 【学修内容】　原子核と電子配置について理解する。 【事前学修】　原子核と電子配置について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 4 回　　原子核と電子配置　Ⅱ 【学修内容】　原子核と電子配置について理解する。 【事前学修】　原子核と電子配置について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 5 回　　イオン結合 【学修内容】　イオン結合について理解する。 【事前学修】　イオン結合について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 6 回　　無機化合物と化学構造式 【学修内容】　無機化合物と化学構造式について理解する。 【事前学修】　無機化合物と化学構造式について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 7 回　　共有結合 【学修内容】　共有結合について理解する。 【事前学修】　共有結合について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 8 回　　有機化合物と化学構造式 【学修内容】　有機化合物と化学構造式について理解する。 【事前学修】　有機化合物と化学構造式について調べる。（2時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、平常点（10%）、平素の受講態度等。
教　　科　　書	数学分野：調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 化学分野：配付プリント
参　考　書 参 考 資 料 等	授業内で適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
情報処理	演習	2	必修	必修	必修	1年・前期	中　山　理智恵
科目コード　SGAAB10007							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	世の中のあらゆるところで情報通信技術が使われている現代において、コンピュータやネットワークは、必要不可欠なものとなり、安全かつ有益に使いこなすことの重要性が高まっている。 この講義では、情報処理の基礎知識として、コンピュータの基本構成やオフィスツールの操作方法について学び、最終的には、実践的な側面からも完成度の高いドキュメントやプレゼン資料を作成できるテクニックと情報セキュリティなどを含めた幅広い知識を修得する。 進化する情報社会の中でICTの適切な利活用の仕方を探求し、履修や就職後のICT利活用の為に実用的な知識と操作能力を会得することを目的とする。
到達目標	①　基礎知識をしっかりマスターし、オフィスツールの様々な機能を駆使した課題を効率良く作成できるようにする。 ②　個々の基本的資質を高め、この授業をきっかけとして学んだことを実践の場で活用できる能力を養う。
授業の進め方	アプリケーションごとに操作技法を解説し、操作上の疑問点はその都度対応していく。 各回で説明した内容に対応した演習問題と指定課題を出題して修得状況を確認し、その後の授業内容を工夫しながら進めていく。また、アプリケーションごとに作成した操作ガイドを参考資料として授業内で配付するので課題作成時などに活用してもらう。 演習問題と指定課題については、授業内で解説する。

第　1　回	ガイダンス（授業の進め方・留意事項）、PC 操作について解説	
【学修内容】	PC起動時に必要なパスワードの設定と、授業で使用するフォルダについて解説する。	
【事前学修】	PCキーボードの入力に不慣れな場合は、入力練習をしておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第　2　回	Word による文書作成Ⅰ：文字書式・段落書式の設定、罫線作成	
【学修内容】	配付する操作ガイドと例題を使い、Wordの様々な書式設定について解説する。	
【事前学修】	PCキーボードの入力に不慣れな場合は、入力練習をしておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第　3　回	Word による文書作成Ⅱ：インデント・タブの設定、段組みの設定	
【学修内容】	例題を使い「インデントとタブ設定」「段組み」について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「インデントとタブ設定」「段組み」の項目について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第　4　回	Word による文書作成Ⅲ：ページレイアウトの設定、目次と表紙の作成	
【学修内容】	長文作成時に利用する「目次と表紙」「ページ番号」の設定について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「見出しの設定」「目次と表紙」について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第　5　回	Word による文書作成Ⅳ：SmartArtの作成、図形作成、図の挿入、図表番号の設定	
【学修内容】	図形作成のポイントと画像と文章のレイアウト、図表番号について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「Smartart」「図表番号」の項目について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第　6　回	Word による文書作成Ⅴ：ヘッダー/ フッターの設定、ページ番号の設定	
【学修内容】	例題を使い「ヘッダー/フッター」と「ページ番号」の設定について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「ヘッダー/フッター」「ページ番号」の設定について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第　7　回	Word による課題作成	
【学修内容】	授業で解説した操作を利用して課題を作成する。	
【事前学修】	授業で行った内容を操作ガイドを用いて復習しておく。	（2時間）
【事後学修】	課題作成時に困惑した点や操作についての解決策をまとめておく。	（2時間）

授業計画	第 8 回	Excelによるデータ処理Ⅰ：効率的なデータ入力と表作成	
	【学修内容】	Excelの基本操作と「データの入力規則」を利用したデータ作成について解説する。	
	【事前学修】	Excelを利用するとどのようなことができるかを考えてみる。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 9 回	Excelによるデータ処理Ⅱ：四則演算と関数を利用した計算	
	【学修内容】	例題を使い、計算式の作成とさまざまな関数の使い方を解説する。	
	【事前学修】	配付する操作ガイドに目を通してExcelの機能について確認しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 10 回	Excelによるデータ処理Ⅲ：グラフの作成と印刷設定	
	【学修内容】	グラフ作成の基本操作と表とグラフをバランスよく印字するポイントを解説する。	
	【事前学修】	操作ガイドの「グラフ作成」について目を通しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 11 回	Excelによるデータ処理Ⅳ：データベースの活用、条件付き書式の設定	
	【学修内容】	作成したデータを活かすためのデータベース機能と条件付き書式について解説する。	
	【事前学修】	操作ガイドの「データベース機能」について目を通しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 12 回	Excelによる課題作成	
	【学修内容】	授業で解説したExcelの操作を利用して課題を作成する。	
	【事前学修】	授業で行った内容を操作ガイドを用いて復習しておく。	（2時間）
	【事後学修】	課題作成時に困惑した点や操作についての解決策をまとめておく。	（2時間）
	第 13 回	PowerPointによるプレゼンテーション資料作成Ⅰ：基本操作	
	【学修内容】	スライドの作成と編集、ファイル保存までの操作を解説する。	
	【事前学修】	どの様な場面でPowePointを活用できるかを考えてみる。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 14 回	PowerPointによるプレゼンテーション資料作成Ⅱ：応用操作	
	【学修内容】	プレゼンテーション時に利用できる操作とポイントを解説する。	
	【事前学修】	プレゼン資料を作成するために必要な基本操作を復習しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 15 回	総括：Word・Excel・PowerPointを利用した横断的な活用方法	
	【学修内容】	アプリケーション間のデータリンクを含めた総合的な解説と各自のフォルダを整理する。	
	【事前学修】	授業で学んだことを復習し、不明な点や質問を整理しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で行った操作を振り返り、活用できるようにポイントをノートに整理しておく。	（2時間）

評価方法	演習問題と指定課題の提出（80%）、平常点（20%）平素の受講態度などを加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	アプリケーションごとに作成した独自の操作ガイド（プリント）を授業内で配付する。 それ以外の参考資料は授業内で説明する。
備考	指定する提出物は、成績評価と修得状況を把握する上で重視するので提出期日を守り忘れずに 提出すること。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
芸術鑑賞・教養講座Ⅰ	演習	1	必修			1年・通年	食物栄養科教員　ほか
科目コード　SGZZB10008							担当形態：オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 本学キャンパスで行われる特別授業・講演や学外での芸術鑑賞・特別講座等を含むため各自開講日時を確認して受講すること。
授業の目的・概要	美術や音楽等の芸術を鑑賞し知性や感性を磨く。また、社会で求められるマナーや知識を身に付け、常識や教養を高める。 芸術鑑賞　（美術館やコンサートホール等で実際に鑑賞する。） 教養講座　（時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講する。） 特別授業　（外部講師による特別に開講される授業を受講する。） マナー講座（社会で求められているマナーに関する授業を受講する。）
到達目標	①　美術や音楽等の芸術を鑑賞し、知性や感性を磨き、豊かな教養を身に付ける。 ②　社会で求められているマナーや知識を身に付け、女性としての常識や教養を身に付ける。
授業の進め方	各回のテーマに添った講演・講座の受講、美術・音楽等の鑑賞をする。 レポート・ワークシートを作成する。
授業計画	第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　授業概要の説明、レポートの書き方 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　レポートの書き方を復習する。（0.5時間） 第 2 回～第14回　芸術鑑賞、教養講座、特別授業、マナー講座等 【学修内容】　実際に美術館やコンサートホールに赴き、美術や音楽等の芸術鑑賞を行い知性や感性を磨く。時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講し、教養を身につける。外部講師による特別に開講される授業を受講し、見識を深める。社会で求められているマナーに関する授業を受講し、社会人としての知識や技術を身に付ける。 ※具体的な内容については、その都度授業前に公示する。 【事前学修】　公示されたテーマについて文献やインターネット等を活用し調べる。（授業1回につき0.5時間） 【事後学修】　学修内容について振り返り、感想や興味を持った事柄について考察しレポート等にまとめる。（授業1回につき0.5時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　本科目で学んだことを振り返る。 【事前学修】　これまでの授業を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　学修内容、感想等をレポートにまとめる。（0.5時間）
評価方法	レポート等（50%）、平常点（50%） 平素の受講態度等を加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
英語Ⅰ	演習	2	必修	必修	必修	1年・前期	盛 合 直 人
科目コード SGAAB10010			フランス語Ⅰとどちらかを必修				担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。英語Ⅰを履修しなければ、英語Ⅱ・英語Ⅲの科目選択はできない。また、英語Ⅰからフランス語Ⅱへの履修はできない。
授業の目的・概要	Simple conversation and communication skills（speaking, listening, reading and writing）will be developed through English topics related to food and health.　Quizzes will be given regularly. 食に関連した基本的な英語を学ぶ。本授業では「シンプル」な「実践型」で「意外と楽しい」英語を学び、英語でコミュニケーションするための基礎力を身に付けることを目的とする。また、和食が無形文化遺産に登録され、和食の魅力や調理法等英語で紹介する機会も増えることも想定し、授業では“食”に関するトピックを取り上げ、映像資料を提示しながら授業を進めていく。 毎時間ポートフォリオの提出と確認小テストも行う。
到達目標	Students will learn the basic conversational English. （食にまつわる語彙の修得と英語での簡単な会話力を身に付ける。）
授業の進め方	プリント等を使用しながら授業を進める。 レベル、修得状況に応じて進めていく。 小テスト、発表・レポート提出など適宜実施する。

第 1 回	英語基礎知識の確認　/　オリエンテーション（受講心得、持参するもの等）
【学修内容】	基礎力確認テストを実施。シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。
【事前学修】	授業前にシラバスに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	シラバスで説明されたことを確認する。基礎力確認テストの内容を復習する。（2時間）
第 2 回	Meeting People
【学修内容】	自己紹介と将来の仕事について話す（Dietitian & Nutritionist）
【事前学修】	自己紹介のための要点をまとめ、文章を事前に作成する。Dietitian & Nutritionistを知る。（2時間）
【事後学修】	自己紹介で伝えるべきポイントを整理し、伝わりやすい表現を確認する。（2時間）
第 3 回	Talking about the Kitchen（1）
【学修内容】	Kitchen Tools　キッチン用語を学ぶ
【事前学修】	Kitchen Tools英語表記と発音を調べておく。（2時間）
【事後学修】	カタカナ語になっているものや、発音の違いを復習する。（2時間）
第 4 回	Talking about the Kitchen（2）
【学修内容】	Preposition（ 前置詞）を使って道具の場所を説明する
【事前学修】	物の配置を表現する英単語を調べておく。（2時間）
【事後学修】	間違いやすい前置詞の表現を復習しておく。（2時間）
第 5 回	Taste & Texture　Likes and Dislikes
【学修内容】	味と食感　好きな食べ物、嫌いな食べ物について話す
【事前学修】	味や食感、好き嫌いの理由を含めて英語で表現する英単語を調べておく。（2時間）
【事後学修】	学習事項を整理して復習する。（2時間）
第 6 回	Shopping for Food
【学修内容】	スーパーで買い物をする際に知っておきたい用語を学ぶ　店員さんとのやりとりを練習する
【事前学修】	食品の英単語を調べる。店員との会話のやり取りを想定する。（2時間）
【事後学修】	食品の日本語と英語表記の違い、店員との会話を確認する。（2時間）
第 7 回	Ordering Food:What Do We Need?
【学修内容】	単位を学び、冷蔵庫で何が足りないか英語で説明する
【事前学修】	英語での単位表記を調べる。冷蔵庫にある食材の英単語を調べておく。（2時間）
【事後学修】	単位の確認と復習。食材の英単語の復習と確認。（2時間）

授業計画	第 8 回　Cooking 【学修内容】　調理する時に使用する動詞を学ぶ 【事前学修】　調理用語を調べておく。（2時間） 【事後学修】　英語表記の調理用語を復習する。（2時間） 第 9 回　Recipes 【学修内容】　英語のレシピを読む。また得意料理を英語で紹介する練習 【事前学修】　前時の調理用語と食材・調味料について調べ、得意料理を英語で表現する準備をする。（2時間） 【事後学修】　レシピや調理の動画を思い起こし確認する。発表を聴いて、料理の理解を深める。（2時間） 第10 回　Group project presentation（前半） 【学修内容】　和食の紹介文を読む 【事前学修】　英文を通し、和食の特徴と外国の料理との違いを考えておく。（2時間） 【事後学修】　和食の特徴について、食材や調理方法を通して復習する。（2時間） 第 11 回　Group project presentation（後半） 【学修内容】　外国の食育についての紹介文を読む 【事前学修】　海外の料理や食事事情について調べておく。（2時間） 【事後学修】　海外の食の特徴について、食事事情を通して復習する。（2時間） 第12 回　Life as a Dietitian 【学修内容】　栄養士の仕事について英語で読む 【事前学修】　栄養士の仕事について、海外との違いがあるのか調べておく。（2時間） 【事後学修】　海外の栄養士の仕事や職場環境について考察しておく。（2時間） 第13 回　At a Restaurant 【学修内容】　レストランでの注文方法を学び、練習する 【事前学修】　海外での料理の注文手順などについて調べておく。（2時間） 【事後学修】　会話手順や表現を復習する。（2時間） 第14 回　Potluck Party とBYO（Bring Your Own）/BYOB 【学修内容】　パーティーについて学ぶ 【事前学修】　外国のパーティーについて調べておく。（2時間） 【事後学修】　持ち寄りのパーティーの決まり事などを復習する。（2時間） 第15 回　Review 【学修内容】　まとめ 【事前学修】　既習事項の最終確認をしておく。（2時間） 【事後学修】　既習事項の再確認をしておく。（2時間）
評価方法	ポートフォリオ・check & quiz（50%）、レポート（25%）、授業の取り組み・発表（25%）を総合的に評価する。
教科書	使用しない。 資料は適宜紹介する。授業プリントを配付する。
参考書 参考資料等	“Speaking of Nutrition”（NAN'UN-DO） “Talk a Lot” by David Martin（EFL Press）
備考	特に記載事項なし。

授業科目名		形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
フランス語Ⅰ		演習	2	必修	必修	必修	1年・前期	ヴェガス・マリオン
科目コード	SGAAB10011			英語Ⅰとどちらかを必修				担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。フランス語Ⅰを履修しなければフランス語Ⅱの科目選択はできない。また、フランス語Ⅰから英語Ⅱへの履修はできない。
授業の目的・概要	フランス語で日常生活のコミュニケーションを取るための基本を学ぶ。
到達目標	① フランス語で自己紹介ができる。 ② フランス語で相手についてたずねる。
授業の進め方	会話を優先した授業を進める。 授業で学んだことを復習しながら宿題をすることによってフランス語の理解を深める。授業の最初に、前回の復習と宿題の答え合わせをする。教科書付属の録音音源を聞いて、フランス語の聞き取りや発音の練習に役立てる。

第 1 回　アルファベット
【学修内容】　フランス語のアルファベット、単語と名前のスペルを言う練習、挨拶
【事前学修】　シラバスを読む。教科書の内容を確認する。（2時間）
【事後学修】　P Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ　アルファベットの復習。録音を聞く。（2時間）

第 2 回　挨拶
【学修内容】　P1・2　挨拶　名前を言う・尋ねる
【事前学修】　P1・2を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）

第 3 回　出会い1
【学修内容】　P3　Commentを使った質問と答え。
【事前学修】　P3の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。　P6の文法のまとめを読む。宿題。（2時間）

第 4 回　出会い2
【学修内容】　P4・5　住んでいる所を聞く。いろいろな挨拶の仕方。
【事前学修】　P4・5の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。　P6の文法のまとめ・面積と人口を読む。宿題。（2時間）

第 5 回　出会い3
【学修内容】　P7・8　出身地・国名・国籍・言葉について知る。
【事前学修】　P7の地図で国の位置を探す。P8の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（2時間）

第 6 回　出会い4
【学修内容】　P9　職業・言語・休暇中の滞在先。
【事前学修】　P9の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）

第 7 回　出会い5
【学修内容】　P10・11　数字。電話番号を尋ねる。自己紹介。
【事前学修】　P10・11の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）

授業計画	第 8 回　出会い6 【学修内容】　P11　クラスメートに質問する。P12　文法のまとめ。 【事前学修】　P11・12を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 9 回　紹介1 【学修内容】　P14　人を紹介するための表現。　P18　文法。 【事前学修】　P14の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 10 回　紹介2 【学修内容】　P13・15　地名を覚える。人を紹介する。 【事前学修】　P13の地図で地名を探す。P15の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 11 回　紹介3 【学修内容】　P16　住んでいる所や出身地を尋ねる。P18 文法。 【事前学修】　P16の日本語の部分とP18の文法のまとめを読む。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 12 回　紹介4 【学修内容】　P16　フランスの地名やその他の国名。P１８の文法。 【事前学修】　P16　日本語の部分を読む。P18の文法のまとめを読む。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 13 回　紹介5 【学修内容】　P17　人物の紹介。 【事前学修】　P17の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 14 回　まとめ 【学修内容】　総復習：前半。 【事前学修】　最初から読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　復習。（2時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　総復習：後半。手紙を読む。オーラルの練習。 【事前学修】　手紙を書く。（2時間） 【事後学修】　総復習。（2時間）
評価方法	口頭試験（80%）、平素の受講態度（20%）。
教科書	EN SCENE Ⅰ　Troisième édition 場面で学ぶフランス語１（三修社）
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
英語Ⅱ	演習	2	選択	選択	選択	1年・後期	盛 合 直 人
科目コード　SgaaB10012							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	英語Ⅰの単位を修得した者に限る。 なお、英語Ⅲを履修するためには、本科目の単位を修得する必要がある。
授業の目的・概要	Speaking, Listening, Reading, and Writing の4領域活用し、会話やコミュニケーションの技術や能力を高め、英語を通して、食や保育にかかわらず、幅広く海外の様々な情報や、現状に多く触れる。 （レポートの提出や、発表などを行う。） （毎回の授業でポートフォリオの提出や小テストを行う。）
到達目標	様々な項目に興味関心を持ち、自ら進んで深く探求する姿勢と、考えを表現する能力を養う。 （様々な場面における英語力向上を目指す。）
授業の進め方	映像・Powerpoint・プリント等を使用しながら授業を進める。 学習状況、修得状況に応じて進めていく。 授業の最後にポートフォリオをまとめ提出する。 発表やレポート提出を適宜実施する。
	第 1 回　自己紹介 【学修内容】　（Self-introduction）〝Home Town〟 【事前学修】　自分の故郷を含めた自己紹介を準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や表現方法を確認する。（2時間） 第 2 回　食文化（1） 【学修内容】　味や食感、盛り付けなどの感想について表現する（感嘆文を復習） 【事前学修】　味や食感の表現や感想を述べる表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　様々な表現方法の理解を深める。（2時間） 第 3 回　食文化（2） 【学修内容】　世界の食事事情 【事前学修】　日本以外の食事事情について調べておく。（2時間） 【事後学修】　食材だけでなく様々な料理を知り知識を深める。（2時間） 第 4 回　食文化（3） 【学修内容】　メニューと注文方法・料理の提供順や物の位置や配置を表現する（前置詞を復習） 【事前学修】　注文方法やテーブルセッティングなどを事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　注文時の会話表現や、テーブルセッティングを理解する。（2時間） 第 5 回　生活編（1） 【学修内容】　建物の位置や間取り、自分の部屋の理想の物件について話す 【事前学修】　建物の構造や物品の表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　理想の間取りを表現できるように復習する。（2時間） 第 6 回　生活編（2） 【学修内容】　子どもや環境について 【事前学修】　海外の子どもの置かれている環境を調べておく。（2時間） 【事後学修】　日本と海外の子どもの置かれている環境について理解する。（2時間） 第 7 回　健康編（1） 【学修内容】　ケガや病気について学び、病院でのやり取りを学ぶ 【事前学修】　ケガや病気の症状に関する表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　症状の表現や病院での会話表現を復習する。（2時間）

授業内容	第 8 回　健康編（2） 【学修内容】　ドラッグストアや薬局での会話や、薬品とその効能などを学ぶ 【事前学修】　ケガや病気の症状に関する表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　薬品とその効能などの表現の理解を深める。（2時間） 第 9 回　娯楽編（1） 【学修内容】　運動、遊び、スポーツ、旅行などについて経験を述べる（副詞を復習） 【事前学修】　自分の経験に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第10 回　娯楽編（2） 【学修内容】　自分の趣味特技や旅行などの経験を述べる 【事前学修】　自分の趣味特技に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第 11 回　職業編（1） 【学修内容】　アルバイトや職業体験について述べる 【事前学修】　自分のアルバイト、職業経験に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第12 回　職業編（2） 【学修内容】　理想の就職先と将来の夢を述べる 【事前学修】　自分の理想の就職先に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第13 回　映像編（1） 【学修内容】　映画の宣伝映像を考察する。本編を観る① 【事前学修】　海外の映画の予告動画を事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　映画の事前予告、Trailorの手法を理解する。（2時間） 第14 回　映像編（2） 【学修内容】　映画の宣伝映像を考察する。本編を観る② 【事前学修】　本編に関する情報を事前に確認しておく。（2時間） 【事後学修】　会話表現の幅広さを理解する。（2時間） 第15 回　映像編（3） 【学修内容】　本編のReviewと海外のCMについて 【事前学修】　本編のあらすじを確認しておく。（2時間） 【事後学修】　記憶に残る台詞の確認。日本のCMとの違いを理解する。（2時間）
評価方法	ポートフォリオ・check & quiz（50%）、課題レポート・授業の取り組み・発表（50%）
教科書	使用しない。 資料は適宜紹介する。授業プリントを配付する。
参考書 参考資料等	“First Steps in Reading English” by I.A. Richards / Christine Gibson（IBC pulishing.co） “Talk a Lot” by David Martin（EFL Press）
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
フランス語Ⅱ	演習	2	選択	選択	選択	1年・後期	ヴェガス・マリオン
科目コード　SgaaB10013							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	フランス語Ⅰの単位を修得した者に限る。
授業の目的・概要	フランス語で日常生活のコミュニケーションを取るための基本を学ぶ。
到達目標	①　フランス語で趣味について話す。 ②　フランス語で家族を紹介する。
授業の進め方	会話を優先した授業を進める。 授業で学んだことを復習しながら宿題をすることによってフランス語の理解をより深める。授業の最初に、前回の復習と宿題の答えあわせをする。教科書付属の録音音源を聞いて、フランス語の聞き取りや発音の練習に役立てる。

第　1　回　　フランス語Ⅰの復習　出会い1
【学修内容】　復習：出会い1
【事前学修】　復習：出会い1（2時間）
【事後学修】　復習：出会い1（2時間）
第　2　回　　フランス語Ⅰの復習　出会い2：紹介する。
【学修内容】　復習：出会い2　紹介する
【事前学修】　復習：出会い2　紹介する（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。（2時間）
第　3　回　　専攻と余暇1
【学修内容】　P19・20　どのような勉強をしたか尋ねる・答える。
【事前学修】　P19・20を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。　P20の単語を覚える。宿題。（2時間）
第　4　回　　専攻と余暇2
【学修内容】　P21・22　好きな事・ものについて尋ねる・言う。
【事前学修】　P22のあなたはビデオゲームが好きですか？を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（2時間）
第　5　回　　専攻と余暇3
【学修内容】　P22の週末あなたは何をするのが好きですか？　P24の文法のまとめの部分冠詞。
【事前学修】　P24の文法のまとめの部分冠詞を読む。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題（2時間）
第　6　回　　専攻と余暇4
【学修内容】　P23　7・9　　好きなことや習慣について話す。
【事前学修】　P23の録音を聞く。宿題。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）
第　7　回　　専攻と余暇5
【学修内容】　P23　8　よく行きます。　文法のまとめの中性代名詞。
【事前学修】　P23　文法のまとめの中性代名詞を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。P24のフランス人の名前を読む。宿題。（2時間）

授業計画	第 8 回　家族１ 【学修内容】　Ｐ２６ 家族・兄弟姉妹。自分の家族を紹介する。 【事前学修】　Ｐ２５のMa Familleの部分を読む。録音を聞く。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（２時間） 第 9 回　家族２ 【学修内容】　Ｐ２７ 自分の家族の年齢や性格などを説明する。 【事前学修】　録音を聞く。Ｐ３０の文法のまとめを読む。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（２時間） 第 10 回　家族３ 【学修内容】　Ｐ２８ 両親について尋ねる。 【事前学修】　Ｐ２８を読む。録音を聞く。Ｐ３０の文法のまとめを読む。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（２時間） 第 11 回　家族４ 【学修内容】　Ｐ２９ 他人の家族について勉強する。 【事前学修】　Ｐ３０の文法のまとめを読む。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。他の学生と家族の紹介文を交換し勉強する。 宿題。（２時間） 第 12 回　家族５ 【学修内容】　他人の家族について話す。 【事前学修】　５課全体の授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。（２時間） 第 13 回　まとめ 【学修内容】　オーラルの練習 - 質問に答える。 【事前学修】　フランス語Ⅱで習ったことを復習する。（２時間） 【事後学修】　総復習（２時間） 第 14 回　まとめ 【学修内容】　オーラル練習　- 自分について話す。 【事前学修】　フランス語Ⅱで学んだことを復習する。（２時間） 【事後学修】　総復習（２時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　オーラル練習　- 他人について話す。 【事前学修】　フランス語Ⅱで学んだことを復習する。（２時間） 【事後学修】　試験準備（２時間）
評価方法	口頭試験（80%）、平素の受講態度（20%）。
教科書	EN SCENE Ⅰ　Troisième édition 場面で学ぶフランス語１（三修社）
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
キャリア教育	演習	2	必修	選択	選択	1年・後期	食物栄養科教員　ほか
科目コード　SGaaB10017							担当形態：オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 将来、社会の一員として職に就くことを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	本演習では、社会人に必要な基礎力やマナーを身に付け、社会人としての資質を磨くことを目的とする。 また「職業キャリア」にとどまらず、個人の環境や状況、人生の節目や転機に応じて柔軟に、他者・社会との関わりのなかで、自分の人生を主体的に創造していく力を身に付け、キャリア教育本来の目標でもある「人間力」や「生きる力」の育成を目指す。
到達目標	①　自己理解を深めることを通して、社会への関心を深め、働くことの意義を知る。 ②　社会で求められているスキルや能力、姿勢について学ぶ（社会人基礎力）。 ③　卒業後のキャリアを自ら考えることができる。
授業の進め方	授業担当者による社会人基礎力の養成講座と、外部講師による講義・質疑応答を行う。
	第　1　回　授業オリエンテーション、キャリアとは何か 【学修内容】　学科長講話・オリエンテーション 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。キャリアについて調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　2　回　社会から求められる資質 【学修内容】　社会から求められる人材になるために大切なこと 【事前学修】　テーマについて調べておく。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　3　回　就職活動について 【学修内容】　就職活動の実際 【事前学修】　卒業後の進路について調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　4　回　キャリア形成と職業理解Ⅰ 【学修内容】　栄養士としての資質、社会人としての資質 【事前学修】　求められる栄養士像について考える。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　5　回　キャリア形成と職業理解Ⅱ 【学修内容】　栄養士としての資質、社会人としての資質 【事前学修】　栄養士として、社会人として必要なことは何か考える。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　6　回　一般常識的知識・文章読解力 【学修内容】　読む・書く・考える 【事前学修】　新聞やニュース、話題の本などを読み、自分なりの考えを持つ。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　キャリア形成と自己理解 【学修内容】　自己分析 【事前学修】　長所・短所、力を入れてきたことなどを整理する。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　8　回　　社会人としてのマナー 【学修内容】　社会人として必要なマナー 【事前学修】　日常の言葉遣い、生活の仕方などふりかえり、自己を見つめる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　9　回　　書いて伝える力Ⅰ 【学修内容】　自己ＰＲ・志望動機の作り方・エントリーシートの書き方 【事前学修】　自己分析をもとに、自己PRを考える。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第 10 回　　書いて伝える力Ⅱ 【学修内容】　論作文 【事前学修】　論作文の構成について調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第 11 回　　円滑なコミュニケーションⅠ 【学修内容】　言葉の表現、話し方、伝え方の工夫 【事前学修】　コミュニケーションを円滑にするために必要なことをこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第 12 回　　円滑なコミュニケーションⅡ 【学修内容】　他者理解を深める、聞き上手になること 【事前学修】　コミュニケーションを円滑にするために必要なことをこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第 13 回　　ストレスマネジメント 【学修内容】　ストレス評価とリラクゼーション、「生きる力」 【事前学修】　ストレスやその対処法についてこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第 14 回　　話して伝える力Ⅰ 【学修内容】　面接試験の基本 【事前学修】　面接試験の内容を想定してみる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第 15 回　　話して伝える力Ⅱ 【学修内容】　面接試験に向けて 【事前学修】　「面接試験の基本」で学んだことをもとに、面接試験のイメージトレーニングをする。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）
評　価　方　法	レポート等（40%）、平常点（60%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
社会福祉概論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	磯　部　ゆかり
科目コード　SgAAA10102							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養士が所属する職場は、社会福祉と関連していることが多い。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	少子高齢化や経済不安により社会福祉に対する需要が増加する一方で、近年の法制度の変革に伴い福祉サービスは複雑化、多様化している。そもそも社会福祉とは何か、意義や内容を学ぶことで、それが人々（私たち）の生活にどのように関係しているのか理解する。
到達目標	①　現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷について理解する。 ②　社会福祉と人権、家庭生活との関連性について理解する。 ③　社会福祉の法・制度・実施体系について理解する。 ④　社会福祉の実践方法、援助技術、利用者保護の仕組みについて理解する。 ⑤　社会福祉の動向や課題について理解する。
授業の進め方	テキストと板書を基本とする。必要に応じてプリントを配付する。
	第　1　回　　オリエンテーション 【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、本授業の概要と目標について理解を深める。（2時間） 第　2　回　　社会福祉とは何か 【学修内容】　社会福祉を学ぶ意義と目的 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会福祉を学ぶ意義と目的について理解を深める。（2時間） 第　3　回　　社会保障① 【学修内容】　社会保障制度とは 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会保障制度について理解を深める。（2時間） 第　4　回　　社会保障② 【学修内容】　社会保険 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会保険について理解を深める。（2時間） 第　5　回　　社会福祉の歴史 【学修内容】　日本とヨーロッパ 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会福祉の歴史について理解を深める。（2時間） 第　6　回　　社会福祉の法と行財政 【学修内容】　社会福祉法制 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会福祉法制について理解を深める。（2時間） 第　7　回　　ソーシャルワークの理解 【学修内容】　ソーシャルワークの概念 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、ソーシャルワークについて理解を深める。（2時間）

授　業　計　画	第　8　回　　最低生活保障と生活保護制度 【学修内容】　貧困問題と生活保護 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、生活保護制度について理解を深める。（2時間） 第　9　回　　児童家庭福祉と次世代育成の展開① 【学修内容】　児童の権利と擁護 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、児童の権利と擁護について理解を深める。（2時間） 第 10 回　　児童家庭福祉と次世代育成の展開② 【学修内容】　児童家庭福祉の相談機関と施設 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、児童家庭福祉の相談機関と施設について理解を深める。（2時間） 第 11 回　　障がい者の自立と福祉 【学修内容】　障がいの理解と施策 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、障がいの理解と施策について理解を深める。（2時間） 第 12 回　　高齢者の生活と福祉 【学修内容】　高齢社会における高齢者福祉、介護保険 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、高齢者福祉、介護保険について理解を深める。（2時間） 第 13 回　　地域福祉への展開 【学修内容】　地域福祉の意義 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、地域福祉について理解を深める。（2時間） 第 14 回　　これからの社会福祉 【学修内容】　社会福祉の課題、動向について 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会福祉の課題、動向について理解を深める。（2時間） 第 15 回　　まとめ 【学修内容】　社会福祉の役割を確認し、社会福祉従事者としてのあり方を考える。 【事前学修】　全ての授業の振り返り（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会福祉を学ぶ意義と目的について理解を深める。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験70%、平常点30%（提出物、受講態度等を加味する。）
教　　科　　書	新・社会福祉とは何か　第4版（大久保秀子著、中央法規）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	新版　社会福祉概論　（金子光一編著、建帛社） 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉　（岩松珠美編、みらい）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
解剖学	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	福　本　真一郎
科目コード　ＳｇＡＡＡ10201							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 無遅刻、無欠席を基本とする。
授業の目的・概要	食物と栄養は、ヒトの生命や体と極めて密接な関係にあることから、食物と栄養を学ぶ者は必然的に人体についても学ばなければならない。解剖学は医学、生物学の中で最も基礎的な学問で、「人体とは何か」を知るために、人体の形態と構造について学ぶ学問である。 本科目では、医学解剖学で学ぶ膨大な内容の中から、食物と栄養を専門とする栄養士が知っておく必要があると思われる基本的な内容について講義を行う。人体はその構成の最小単位である細胞を基にして組織→器官（臓器）→器官系のそれぞれの集合体で成り立っている。食物、栄養と人体を構成するそれぞれの単位との関連性を視野に入れた解剖学を学修する。
到達目標	免許・資格を持つ専門家が知っておきたい人体の形態と構造に関する知識を理解し、修得する。 ① 消化器系及び内分泌系の主な形態と構造を説明することができる。 ② 生殖器系及び泌尿器系の主な形態と構造を説明することができる。 ③ 循環器系、血液、及び呼吸器系の主な形態と構造を説明することができる。 ④ 神経系及び感覚器系の主な形態と構造を説明することができる。
授業の進め方	パワーポイントで解剖図やイラストを中心に用語の理解を深めるようにする。 関連する運動生理学で学ぶ機能についても、必要に応じて説明する。

第 1 回	オリエンテーション、細胞の基本的構造
【学修内容】	解剖学の概説　細胞の構造
【事前学修】	序章　解剖学とは？導入と概説を読み予習（2時間）
【事後学修】	講義と配付資料等の復習（２時間）
第 2 回	組織の基本的な構成、組織の種類
【学修内容】	細胞から組織・器官・臓器の概略
【事前学修】	教科書　第1章　総論を読み予習（２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照して復習（２時間）
第 3 回	人体各部の名称、器官系の概要
【学修内容】	器官＝各臓器の形態学と機能の概略
【事前学修】	教科書　第1章　総論　基本的な臓器の把握を読み予習（２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照して臓器を復習（２時間）
第 4 回	骨格系
【学修内容】	運動器系としての基本である全体的な骨格系の説明と把握
【事前学修】	総論　第1章　p32-37　骨格の形態学を読み予習 （２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照して骨格系の形態を復習（２時間）
第 5 回	筋肉系
【学修内容】	全体的な筋肉系＝骨格筋の説明
【事前学修】	総論　第1章　p38-44　骨格筋の形態学的説明を読み予習 （２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照による復習（２時間）
第 6 回	循環器系
【学修内容】	循環器系の概説　血管　心臓　動脈　静脈　リンパ系の形態学的概説と生理学的機能
【事前学修】	総論　第1章ｐ46-61　第3章　胸部160-167の形態学的特徴を読み予習（２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照による復習（２時間）
第 7 回	血液・造血器系
【学修内容】	血液の成分　血球と造血系　形態学と生理学的特徴　免疫学概説
【事前学修】	総論　第1章　ｐ54-57　形態学と生理学的特徴を読み予習 （２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照による復習（２時間）

授業計画	第 8 回　消化器系（Ⅰ）：消化管の構造 【学修内容】　消化器系の概説　消化管　吸収　運動など 【事前学修】　教科書　総論　第1章　p62-67　第4章 p182-191を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書 プリント参照による復習（2時間） 第 9 回　消化器系（Ⅱ）：肝臓、膵臓の構造 【学修内容】　消化器系のうち肝臓、膵臓の構造と機能の概説 【事前学修】　教科書　第4章　p192-199　肝　膵の構造機能を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書 プリント参照による復習（2時間） 第 10 回　呼吸器系 【学修内容】　呼吸器系の概説　構造と機能 【事前学修】　教科書　第1章　p68-69　第3章　胸部　p150-161　形態学的認識を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 11 回　泌尿器系 【学修内容】　腎　泌尿器系の構造と機能 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p70-71　第4章　腎臓の構造と機能　尿産生　p200-203を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 12 回　生殖器系 【学修内容】　生殖器の構造　妊娠胎児の成長など 【事前学修】　教科書　第4章　p206-217　生殖器系の形態学と生理学的機能を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 13 回　内分泌系 【学修内容】　内分泌系の概要　ホルモンの概説 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p72-75　ホルモンの機能や生理学を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 14 回　神経系：中枢神経系、末梢神経系 【学修内容】　神経系の構造と機能　中枢神経と末梢神経 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p76-89を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 15 回　皮膚・感覚器系 【学修内容】　五感　に関する感覚器　皮膚感覚の概説 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p90-95　第2章　頭部頸部　p98-141を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間）
評価方法	筆記試験（課題レポート）（50%）、小テスト・レポート・受講態度（50%）
教科書	ぜんぶわかる人体解剖図（坂井達雄・橋本尚詞著、成美堂出版）、プリント教材
参考書 参考資料等	カラー人体解剖学（井上貴央監訳、西村書店）　※本学図書館に所蔵
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生理学	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	森　田　香代子
科目コード　SgAAA10202							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	生理学では、人体で営まれる様々な生命現象において、人体を構成している細胞、組織及び器官（臓器）が、それぞれどのような役割と機能（働き）を持っているかについて学び、生命現象を理解することを目標とする。 生理学は、細胞、組織及び器官の形態と構造を学ぶ解剖学とは、ちょうど車の両輪のように密接な関係にあるので常に解剖学と関連させることで、理解を高めることができる。
到達目標	①　運動とエネルギー産生の基本的機能を説明することができる。 ②　主要栄養素の消化及び吸収を理解し説明することができる。 ③　内分泌系、特にインスリンと血糖上昇ホルモンの基本的働きを説明することができる。 ④　循環器系、神経系及び泌尿器系の基本的働きを説明することができる。 ⑤　最近の生命科学の著しい進歩に伴い、変化する知見を、自分で吸収できる基礎を養う。
授業の進め方	教科書を中心にした講義の中で様々な臨床的症例を紹介しながら理解を深めるよう授業を進めていく。 必要に応じ、学ぶ順番を変更する場合があるので、常に教科書を持参のこと。

第　1　回	体液
【学修内容】	太古の海水と現代の生物の細胞内液・外液の関係の理解。
【事前学修】	半透膜とはP5,9。アルカローシスとアシドーシスの関係P11。脱水について、その原因の理解P13。それぞれ教科書を読んでおく。（1時間）
【事後学修】	授業中のノートの内容の理解とまとめ。教科書著者による講義動画を見る。（1時間）
第　2　回	血液
【学修内容】	血液の成分とその機能について学ぶ。血液型の基礎知識を学ぶ。
【事前学修】	血液の成分P17,19。貧血についての基礎知識P25，P20～23。白血球の種類とそれぞれの機能P27。血液型の基礎知識P35，37。（2時間）
【事後学修】	授業ノートの整理。動画の視聴。（2時間）
第　3　回	免疫
【学修内容】	免疫の種類とアレルギーとの関係を理解する。
【事前学修】	自己と非自己が免疫に与える影響を理解するP41。細胞性免疫とはP43。液性免疫とはP45。アレルギーとは何かを理解P47。（2時間）
【事後学修】	授業ノートの整理と動画の視聴。（2時間）
第　4　回	循環
【学修内容】	循環器系の構造とその機能についての理解
【事前学修】	循環器系の構造P51。刺激伝達系P57。血圧についてP67，69，71。末梢循環P73。冠動脈や門脈の特殊性を理解するP72。（3時間）
【事後学修】	循環器系のシェーマを完成させて理解を深める。動画の視聴。（3時間）
第　5　回	呼吸
【学修内容】	呼吸と肺・呼吸運動について理解する。呼吸性アシドーシスと呼吸性アルカローシスについて理解を深める。
【事前学修】	呼吸運動についてP76～79。拘束性肺障害と閉塞性肺障害P83。呼吸性アシドーシスと呼吸性アルカローシスP89。（3時間）
【事後学修】	授業ノートの整理と動画の視聴。（3時間）
第　6　回	代謝
【学修内容】	三大栄養素の基本的理解、ATP（アデノシン三リン酸）についての理解。
【事前学修】	栄養素についてP94～101を読んでおく。ATPについてP102のシェーマを理解。肥満のタイプと定義について理解するP106，107。（4時間）
【事後学修】	まとめノート作成、動画の視聴。（4時間）

授業計画	第 7 回	内分泌
	【学修内容】	内分泌について概要を理解する。特に膵臓・副腎の分泌するホルモンと性ホルモンへの理解。
	【事前学修】	ホルモンの内分泌と作用の表をノートに写しておくP112。ホルモンと神経の命令伝達の違いを理解するP111。性ホルモンについて事前に読むP124～127。（2時間）
	【事後学修】	まとめノートの整理、動画の視聴。（2時間）
	第 8 回	体温
	【学修内容】	熱の産生と放散のしくみ、体温中枢と発熱の関係、発汗についての理解を深める。
	【事前学修】	熱の産生と放散P131。体温中枢と発熱P134，135。汗P137。事前に教科書を読んでおく。（1時間）
	【事後学修】	体温調節のしくみが理解できているか、体温調節中枢と感染症での発熱について説明できること。ノートにまとめる。動画視聴。（1時間）
	第 9 回	消化
	【学修内容】	消化管は長い1本の管であることの理解。肝・胆・膵も消化管の一部であることの理解。消化液・消化管ホルモンについての理解を深める。
	【事前学修】	消化管についてP142～145、P146～P153を読める範囲で事前に読んでおく。（4時間）
	【事後学修】	まとめノート作成、動画視聴。（4時間）
	第 10 回	排泄
	【学修内容】	排泄器官としての腎の役割と内分泌器官としての腎の役割の双方を理解する。
	【事前学修】	排泄器官としての糸球体と尿細管についてP162～P165。内分泌器官としての腎についてP168，169。（2時間）
	【事後学修】	まとめノート作成、動画視聴。（2時間）
	第 11 回	神経
	【学修内容】	ニューロン・末梢神経・自律神経・中枢神経について理解する。脊髄・伝達経路・反射について理解する。脊髄・伝導路・反射について理解する。
	【事前学修】	教科書第11章を読み、おおまかな理解を得ておく。（1時間）
	【事後学修】	まとめノート作成、動画視聴。（1時間）
	第 12 回	筋
	【学修内容】	筋収縮のしくみや筋肉の種類について大まかな理解を得る。
	【事前学修】	筋収縮のしくみP194,195。骨格筋が身体の各部分を動かすしくみの理解を深める。（1時間）
	【事後学修】	まとめノート作成。（1時間）
	第 13 回	感覚
	【学修内容】	生体にとって感覚とはどんな役割があるのかを理解し、それぞれの感覚器のしくみと機能を理解する。
	【事前学修】	教科書第13章を読み、自分なりにある程度の理解を得ておく。P200～P213。特に嗅覚・味覚の項目をよく読んでおくP213。（1時間）
	【事後学修】	まとめノート作成。動画視聴。（1時間）
	第 14 回	遺伝
	【学修内容】	細胞の基本構造を復習し、細胞分裂・遺伝情報（遺伝子）の複製、遺伝形式を学ぶ。
	【事前学修】	教科書P216～222を読み、質問があれば用意する。（1時間）
	【事後学修】	確実な理解が出来たか、自分で確認。（1時間）
	第 15 回	まとめ
	【学修内容】	これまでの授業のまとめと質疑応答
	【事前学修】	テスト前の自作ノートの総まとめと質問作成。（2時間）
	【事後学修】	ノート点検。（2時間）

評価方法	筆記試験（60%）、平常点（40%）、平素の受講態度等を加味する。
教科書	イラストでまなぶ生理学（田中越郎著、医学書院）
参考書 参考資料等	シンプル生理学（貴邑冨久子、根来英雄共著、南江堂）
備考	実務経験のある教員：北海道内の病院における医師としての実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生化学	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	舟根 和美
科目コード　SgAAA10204							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士など食に関係する業務に活かすことを意識し、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	① 生体成分（タンパク質、核酸、脂質、糖質、ビタミン、ミネラル）の化学的基礎を理解する。 ② 生体成分の生体内における代謝と役割（エネルギー代謝、遺伝、タンパク質合成等）について理解する。
到達目標	① 生体成分の化学的特性、機能、代謝、欠乏症等についての基礎的知識を修得する。 ② 遺伝子の働き方について理解する。 ③ 代謝について化学的に理解する。
授業の進め方	教科書を中心に講義を進める。

第 1 回　生きるために必要な物質1
【学修内容】　化学の基礎　（元素記号，官能基），糖質
【事前学修】　教科書第１章1.1の内容を把握する。　（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間）
第 2 回　生きるために必要な物質２
【学修内容】　タンパク質
【事前学修】　教科書第１章1.2の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間）
第 3 回　生きるために必要な物質３
【学修内容】　脂質
【事前学修】　教科書第１章1.3の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間）
第 4 回　生きるために必要な物質４
【学修内容】　核酸，ビタミン，ミネラル
【事前学修】　教科書第１章1.4～1.6の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間）
第 5 回　生きるために必要な物質5
【学修内容】　教科書第１章のまとめ　（チェックテスト）
【事前学修】　教科書第１章をあらためて読むとともに講義資料を復習する。（2時間）
【事後学修】　チェックテストでできなかった問題を復習する。（2時間）
第 6 回　体の中の化学反応
【学修内容】　酵素のはたらき
【事前学修】　教科書第２章の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間）
第 7 回　タンパク質と遺伝子の関係１
【学修内容】　遺伝
【事前学修】　第３章3.2の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間）

授　業　計　画	第 8 回　　タンパク質と遺伝子の関係２ 【学修内容】　DNAの複製 【事前学修】　第３章3.2の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間） 第 9 回　　タンパク質と遺伝子の関係３ 【学修内容】　転写と翻訳 【事前学修】　教科書第３章3.1の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間） 第10 回　　タンパク質と遺伝子の関係４ 【学修内容】　遺伝子工学 【事前学修】　教科書第３章3.3の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間） 第 11 回　　タンパク質と遺伝子の関係5 【学修内容】　教科書第２章と第３章のまとめ （チェックテスト） 【事前学修】　教科書第２章と第３章、これらと関連する講義資料の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　チェックテストでできなかった問題を復習する。（2時間） 第12 回　　エネルギーを得る仕組み1 【学修内容】　糖質の代謝 【事前学修】　教科書第４章4.1と4.2の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間） 第13 回　　エネルギーを得る仕組み2 【学修内容】　脂質代謝 【事前学修】　教科書第４章4.3の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間） 第14 回　　エネルギーを得る仕組み3 【学修内容】　アミノ酸代謝と生体防御 【事前学修】　教科書第４章4.4と第５章5.3と5.4の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。（2時間） 第15 回　　まとめ 【学修内容】　講義全体の内容の確認 （チェックテスト） 【事前学修】　講義で学習した内容を復習する。（2時間） 【事後学修】　チェックテストでできなかった問題を復習する。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（60%）、小テストやレポートおよび平素の受講態度等（40%）。
教　　科　　書	カラー図解　生化学ノート　書く！塗る！わかる！（森誠著、講談社）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	必要に応じ資料等を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学総論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	山岸和敏
科目コード　SgAAA10301							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 食品の基礎知識として、人間とのかかわりや機能について修得する。 授業概要 食品の体系的な理解のため、健康や環境等とのかかわり、食品の種類・分類について教授する。 食品成分の化学的性質や働き、所在等について教授する。
到達目標	食品学は調理学や栄養学等、他科目とのかかわりが深いことから、一年次に食品の基礎知識の修得を目標とする。 ① 人間生活における食品の位置付け、食品の種類・分類について理解する。 ② 生命維持に必要な栄養成分、おいしさにかかわる嗜好成分の化学的性質や働き、所在について学修する。 ③ 疾病や老化の予防等にかかわる成分の所在や生理機能について学修する。
授業の進め方	教科書と講義資料に基づき授業を進めるので、授業終了後に復習し、理解できない点がある場合は、次の授業時間後等に質問すること。

第 1 回　オリエンテーション
【学修内容】　シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。
【事前学修】　食品学総論のシラバスを読んでおく。（2時間）
【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（2時間）

第 2 回　食品とは何か Ⅰ
【学修内容】　人間と食品の関わりについて学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.1～10を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「人間と食品」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

第 3 回　食品とは何か Ⅱ
【学修内容】　食品の種類・分類、食品成分表について学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.12～15、p.162～173を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「食品の種類・分類、食品成分表」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

第 4 回　食品とは何か Ⅲ
【学修内容】　食品成分の分類、水分について学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.15～19を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「食品成分の分類、水分」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

第 5 回　栄養成分 Ⅰ
【学修内容】　たんぱく質①：アミノ酸、ペプチドについて学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.19～27を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「たんぱく質①」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

第 6 回　栄養成分 Ⅱ
【学修内容】　たんぱく質②：ポリペプチドについて学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.27～37を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「たんぱく質②」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

第 7 回　栄養成分 Ⅲ
【学修内容】　炭水化物①：単糖類について学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.38～45を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「炭水化物①」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

授　業　計　画	第　8　回　　栄養成分　Ⅳ 【学修内容】　炭水化物②：少糖類、多糖類について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.46～56を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「炭水化物②」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第　9　回　　栄養成分　Ⅴ 【学修内容】　脂質について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.56～69を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「脂質」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 10 回　　栄養成分　Ⅵ 【学修内容】　ビタミンについて学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.69～78を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「ビタミン」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 11 回　　栄養成分　Ⅶ 【学修内容】　ミネラルについて学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.78～84を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「ミネラル」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 12 回　　嗜好成分　Ⅰ 【学修内容】　色素成分について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.91～98を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「色素成分」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 13 回　　嗜好成分　Ⅱ 【学修内容】　呈味成分について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.98～109を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「呈味成分」を用いて、今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 14 回　　嗜好成分　Ⅲ 【学修内容】　香気・におい成分、褐変について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.109～120を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「香気・におい成分、褐変」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 15 回　　食品の物性 【学修内容】　食品の物理的性質について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.120～127を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「食品の物性」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、平常点（10%）平素の受講態度等。
教　　科　　書	食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－（荒川義人ほか共著、三共出版） 食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－（中河原俊治ほか共著、三共出版）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	各授業の中で講義資料を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学各論	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	山岸和敏
科目コード　SgAAA10302							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 食品にかかわる応用知識として、食品毎の特性や成分について修得する。 授業概要 食品を生物起源によって分類し、種類、特性並びに栄養・機能性成分について教授する。 食品の調理・加工・貯蔵適性及び成分変化について教授する。
到達目標	食品を扱う専門職に求められる応用知識の修得を目標とする。 ① 食品の起源や特性について理解する。 ② 個々の食品が持つ栄養成分や機能性成分について学修する。 ③ 食品の調理・加工・貯蔵の方法と化学的・物理的変化について学修する。
授業の進め方	教科書と講義資料に基づき授業を進めるので、授業終了後に復習し、理解できない点がある場合は、次の授業時間後等に質問すること。

第 1 回	オリエンテーション 植物性食品の特性と加工 Ⅰ
【学修内容】	シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。 穀類について学ぶ。
【事前学修】	食品学各論のシラバスを読んでおく。 教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.16～23を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。 講義資料「穀類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 2 回	植物性食品の特性と加工 Ⅱ
【学修内容】	いも類、豆類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.24～34を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「いも類」「豆類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 3 回	植物性食品の特性と加工 Ⅲ
【学修内容】	種実類、野菜類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.34～46を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「種実類」「野菜類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 4 回	植物性食品の特性と加工 Ⅳ
【学修内容】	果実類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.46～55を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「果実類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 5 回	植物性食品の特性と加工 Ⅴ
【学修内容】	きのこ類、藻類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.56～65を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「きのこ類」「藻類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 6 回	動物性食品の特性と加工 Ⅰ
【学修内容】	肉類①：筋肉の構造、成分と機能性について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.71～76を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「肉類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 7 回	動物性食品の特性と加工 Ⅱ
【学修内容】	肉類②：死後変化、主な食肉類、食肉製品について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.77～86を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「肉類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

授業計画	第 8 回　動物性食品の特性と加工　Ⅲ 【学修内容】　魚介類①：種類、特徴、成分と機能性、鮮度判定について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.86～96を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「魚介類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 9 回　動物性食品の特性と加工　Ⅳ 【学修内容】　魚介類②：自然毒による食中毒、主な魚介類、水産加工品について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.96～104を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「魚介類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 10 回　動物性食品の特性と加工　Ⅴ 【学修内容】　乳類について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.104～112を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「乳類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 11 回　動物性食品の特性と加工　Ⅵ 【学修内容】　卵類について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.112～117を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「卵類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 12 回　その他の食品の特性と加工　Ⅰ 【学修内容】　食用油脂、甘味料について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.123～133を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「食用油脂」「甘味料」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 13 回　その他の食品の特性と加工　Ⅱ 【学修内容】　調味料、香辛料、嗜好飲料について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.133～142を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「調味料」「香辛料」「嗜好飲料」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 14 回　その他の食品の特性と加工　Ⅲ 【学修内容】　微生物利用食品について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.147～160を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「微生物利用食品」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 15 回　機能性食品 【学修内容】　機能性食品について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.132～157を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「機能性食品」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
評価方法	筆記試験（90%）、平常点（10%）平素の受講態度等。
教科書	食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－（荒川義人ほか共著、三共出版） 食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－（中河原俊治ほか共著、三共出版）
参考書 参考資料等	各授業の中で講義資料を配付する。
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品衛生学	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	中村佳苗
科目コード　SgAAA10303							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	食中毒等食品による健康被害や食品の変質・保存等に関する化学、物理学、微生物学等についての知識を修得するとともに、表示に関する規則等食品衛生に関する法規、行政の仕組みを理解することにより、将来、給食施設等食に関する業務に就くための基本的考え方を身に付ける。
到達目標	① 食品衛生の基本である衛生管理、食中毒等健康被害、食品の表示等に関する知識を修得する。 ② 国の内外又は身近において発生する、食の安全に関するできごとの本質を捉え、対処できる能力を養う。
授業の進め方	教科書を中心に、実際の事例を含め、体系的に講義を進める。また、食中毒等食の安全性にかかわる重要な問題や栄養士として食品衛生上求められる衛生管理及び表示等については、より詳細に講義を進める。

第 1 回　食品衛生の定義、食品衛生行政（食品衛生行政の沿革、範囲、食品衛生を担う者）
【学修内容】　食品衛生学の定義と食品衛生行政について理解する。
【事前学修】　教科書第1章と第2章について目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

第 2 回　食品衛生法と関連法規（法の仕組み、表示、食品の規格基準等）
【学修内容】　食品衛生関係法規と食品の規格基準について理解する。
【事前学修】　教科書第3章について目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

第 3 回　食品と微生物（微生物の性状、発育条件）
【学修内容】　食品に関連する微生物について理解する。
【事前学修】　教科書第4章について目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

第 4 回　食品の変質（変質、腐敗、防止等）
【学修内容】　食品の変質とその防止について理解する。
【事前学修】　教科書第5章について目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

第 5 回　食中毒1（食中毒の分類、発生状況、感染型食中毒）
【学修内容】　食中毒の分類と発生状況、感染型食中毒を理解する。
【事前学修】　教科書第6章の発生状況と感染型食中毒をについて目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

第 6 回　食中毒2（感染型食中毒、毒素型食中毒、ウイルス性食中毒）
【学修内容】　感染型食中毒、毒素型食中毒とウイルス性食中毒について理解する。
【事前学修】　教科書第6章の（感染型、毒素型）食中毒とウイルス性食中毒について目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

第 7 回　食中毒3（自然毒食中毒）
【学修内容】　自然毒食中毒を理解する。
【事前学修】　教科書第6章の自然毒食中毒について目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

授　業　計　画	第　８　回　　食中毒４（化学性食中毒と経口感染症） 【学修内容】　化学性食中毒と経口感染症について理解する。 【事前学修】　教科書第６章の化学性食中毒と経口感染症について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　９　回　　食中毒５（経口寄生虫症） 【学修内容】　経口寄生虫症について理解する。 【事前学修】　教科書第６章の経口寄生虫症について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第10　回　　有害物質における食品汚染（カビ毒、農薬、重金属等） 【学修内容】　有害物質における食品汚染を理解する。 【事前学修】　教科書第７章について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第11　回　　食品添加物１（概念、規格基準、表示） 【学修内容】　食品添加物の規格基準や表示について理解する。 【事前学修】　教科書第８章の規格基準や表示について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第12　回　　食品添加物２（安全性評価、種類、用途） 【学修内容】　食品添加物の安全性評価、種類と用途について理解する。 【事前学修】　教科書第８章の安全性評価や種類、用途について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第13　回　　食品用器具、台所用洗浄剤、HACCP 【学修内容】　食品用器具、台所用洗剤やHACCPについて理解する。 【事前学修】　教科書第９章と第１０章について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第14　回　　食品衛生対策（施設の衛生）と食品の安全性（遺伝子組み換え食品など） 【学修内容】　施設の衛生対策と遺伝子組み換え食品などについて理解する。 【事前学修】　教科書第１０章と第１１章について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】　食品衛生学全般について理解する。 【事前学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、そのほか小テストや平素の受講態度を加味する（10%）。
教　　科　　書	新食品衛生学要説（廣末トシ子・安達修一編、医歯薬出版）
参　考　書 参考資料等	各法規の抜粋、統計等は必要に応じ配付する。
備　　考	実務経験のある教員：北海道内の保健所における食品衛生に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学実験Ⅰ	実験	1	選択	必修	必修	1年・前期	山岸和敏
科目コード　SgAAC10305							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 本科目を履修し単位を修得しなければ、食品学実験Ⅱは履修することができない。
授業の目的・概要	目的 食品の成分に関する知識並びに基礎的な分析手法を修得する。 授業概要 実験の基本的な心得と知識、操作法について教授する。 身近な食品を実験材料とし、成分に関する知識並びに基礎的な分析手法について教授する。
到達目標	基礎的な実験を通して、食品の成分に関する知識と分析技術の修得を目標とする。 ① 実験の心得、実験器具と装置の使用方法について理解する。 ② 食品成分が有する化学的性質について学修する。 ③ 食品成分の定量分析について学修する。
授業の進め方	実験の目的、科学的背景、実験方法及び注意点を教授した上で、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。

第 1 回	オリエンテーション
【学修内容】	シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。 実験の基本的な心得について学ぶ。
【事前学修】	食品学実験Ⅰのシラバスを読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。 テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 2 回	基本操作 Ⅰ
【学修内容】	器具と装置の原理、使用目的、使用方法、試薬について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（化学実験の基礎）p.6～10を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 3 回	基本操作 Ⅱ
【学修内容】	実験器具と装置の使用法（精秤、磨砕、抽出、希釈、顕微鏡）について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（化学実験の基礎）p.18～19「顕微鏡の操作法」を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 4 回	基本操作 Ⅲ
【学修内容】	実験器具と装置の使用法（ろ過、測容、滴定）について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（化学実験の基礎）p.12～18を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 5 回	植物性食品からの核酸抽出
【学修内容】	ブロッコリーからのDNA抽出について学ぶ。
【事前学修】	核酸について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】	配付資料「DNAの抽出実験」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 6 回	定性分析 Ⅰ
【学修内容】	脂質の定性分析について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（定性分析）p.1～3を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（定性分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 7 回	定性分析 Ⅱ
【学修内容】	糖質の定性分析について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（定性分析）p.4～6を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（定性分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

授　業　計　画	第 8 回　定性分析 Ⅲ 【学修内容】　タンパク質、アミノ酸の定性分析について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定性分析）p.7～10を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定性分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 9 回　定量分析 Ⅰ 【学修内容】　酸、塩基、pH、分子量、モル、グラム当量、規定度について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.1～4を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 10 回　定量分析 Ⅱ 【学修内容】　試薬の調製と標定について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.5～7上部を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 11 回　定量分析 Ⅲ 【学修内容】　調味料の酸度の測定について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.7下部～8を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 12 回　定量分析 Ⅳ 【学修内容】　果実の酸度の測定について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.9～10を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 13 回　定量分析 Ⅴ 【学修内容】　還元糖の定量 ①：検量線の作成について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.11～13（1）を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 14 回　定量分析 Ⅵ 【学修内容】　還元糖の定量 ②：清涼飲料水の還元糖の定量について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.13（2）を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 15 回　デンプン粒の観察と消化実験 【学修内容】　デンプンの抽出と顕微鏡観察　唾液アミラーゼによるデンプンの消化について学ぶ。 【事前学修】　デンプン、アミラーゼについて調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「デンプンに関する諸実験」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
評　価　方　法	平常点、実験報告書、提出課題、平素の受講態度等（100%）。
教　　科　　書	オリジナルテキストを使用する。
参　考　書 参 考 資 料 等	授業の中で適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学実験Ⅱ	実験	1	選択	必修	必修	1年・後期	木野村　美　花
科目コード　SgAAC10306							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	食品学実験Ⅰを履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。
授業の目的・概要	目的 食品の成分分析について、理論と技術を修得する。 授業概要 ① 食品の一般成分、ビタミン、塩分の分析における理論と手法について教授する。 ② 遺伝子組み換え食品に関する知識並びに分析手法について教授する。
到達目標	食品の成分分析の理論、専門的技術の修得を目標とする。 ① 成分分析について、食品を扱う専門職に求められる幅広い知識や技術を修得する。 ② 一般成分、ビタミン、塩分の分析を通し、食品成分表に記載されている数値の成り立ちについて学修する。 ③ 食品の栄養成分や核酸（DNA、RNA）が有する化学的性質について学修する。
授業の進め方	実験の目的、科学的背景、実験方法や注意点を教授したうえで、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。

第 1 回　オリエンテーション
【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。
【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（0.5時間）

第 2 回　食品の一般成分分析Ⅰ　分析方法の種類、原理
【学修内容】　分析方法の種類、原理について理解する。
【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 3 回　食品の一般成分分析Ⅱ　実験器具の説明、使用法
【学修内容】　実験器具、使用法について理解する。
【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 4 回　食品の一般成分分析Ⅲ　水分の測定：常圧加熱乾燥法
【学修内容】　水分の測定について理解する。
【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 5 回　食品の一般成分分析Ⅳ　灰分の測定：直接灰化法
【学修内容】　灰分の測定について理解する。
【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 6 回　食品の一般成分分析Ⅴ　粗脂肪の測定：ソックスレー抽出法
【学修内容】　粗脂肪の測定について理解する。
【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 7 回　食品の一般成分分析Ⅵ　粗たんぱくの測定：ケルダール法
【学修内容】　粗たんぱくの測定について理解する。
【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

	第 8 回　食品の一般成分分析Ⅶ　炭水化物の算出 【学修内容】　炭水化物の算出について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 9 回　食品の一般成分分析Ⅷ　エネルギーの算出 【学修内容】　エネルギーの算出について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 10 回　食品の一般成分分析Ⅸ　一般成分分析のまとめ 【学修内容】　今までの授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 11 回　ビタミンCの定量Ⅰ　分光光度計の原理、検量線作成 【学修内容】　分光光度計の原理、検量線について理解する。 【事前学修】　分光光度計の原理について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 12 回　ビタミンCの定量Ⅱ　食品中のビタミンCの測定 【学修内容】　ビタミンCの測定について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 13 回　塩分の測定 【学修内容】　塩分の測定について理解する。 【事前学修】　塩分について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 14 回　動物性食品からの核酸抽出と定量 【学修内容】　核酸抽出と定量について理解する。 【事前学修】　核酸について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　今までの授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

評価方法	筆記試験（50%）、平常点（50%）実験報告書、提出課題、平素の受講態度等。
教科書	オリジナルテキスト 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部）
参考書 参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養学総論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	上　坂　真智子
科目コード　SgAAA10401							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養士として基本になることはもちろん自分自身や家族、多くの方々を健康に導かせることができる専門知識となる。このことを念頭において受講する。
授業の目的・概要	栄養・栄養素の基礎を学び、健康の維持・増進、疾病予防・治療における栄養的役割を理解する。食事を摂る意義、消化・吸収の仕組み、各栄養素の特徴、水やエネルギー代謝の生理的意義を学修することによって、多くの方々の健康を担う栄養士に必要な専門知識を身に付けることを目的とする。
到達目標	①　栄養と栄養素の違いを知ることができる。 ②　食物摂取の意義、消化・吸収について理解できる。 ③　各栄養素の特徴、体への作用を理解できる。 ④　体内における水分の役割、エネルギー代謝について理解できる。 ＊栄養学の基礎を学ぶことで栄養素の働きを知る楽しさ、食べることの意義について理解できる。
授業の進め方	教科書と配付資料により授業を進める。

第　1　回　　オリエンテーション、栄養の概念①
【学修内容】　栄養と栄養素の基本、代謝とは何かを理解する。
【事前学修】　教科書第1章 「1.栄養の定義」「2.栄養と健康・疾患」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　2　回　　栄養の概念②（遺伝子形質と栄養）、食物の摂取
【学修内容】　遺伝子と健康、なぜ食物を摂取するのか、時間と食物摂取の関係（時間栄養学）について学ぶ。
【事前学修】　教科書第1章「3.遺伝形質と栄養の相互作用」、第2章「食物の摂取」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　3　回　　消化・吸収と栄養素の体内動態①
【学修内容】　消化器系とその働き、口から摂取した食物の消化の流れを学ぶ。
【事前学修】　教科書第3章「1. 消化器の構造と機能」～「4.管腔内消化の調節」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　4　回　　消化・吸収と栄養素の体内動態②
【学修内容】　消化された栄養素が吸収される仕組み、栄養素別の消化・吸収、消化吸収率について学ぶ。
【事前学修】　教科書第3章「5. 膜消化・吸収」～「8.生物学的利用度」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　5　回　　炭水化物の栄養①
【学修内容】　生命活動に必要不可欠なエネルギーとエネルギー産生、炭水化物の種類について学ぶ。
【事前学修】　教科書第4章「1. 炭水化物の概要」～「3.エネルギー源としての作用」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　6　回　　炭水化物の栄養②
【学修内容】　炭水化物の働き、血糖とホルモン、糖質の代謝、食物繊維について学ぶ。
【事前学修】　教科書第4章「4.血糖とその調節」～「7.食物繊維」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　7　回　　脂質の栄養①
【学修内容】　脂質の種類と働き、コレステロールの作用について学ぶ。
【事前学修】　教科書第5章「1. 脂質の種類と働き」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

授業計画	第 8 回　脂質の栄養② 【学修内容】　脂質が全身に運搬されていく仕組み、脂質の代謝について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章「2.脂質の臓器間輸送」～「7.他の栄養素との相互作用」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 9 回　たんぱく質の栄養① 【学修内容】　たんぱく質とアミノ酸の概要、各アミノ酸の働き、たんぱく質・アミノ酸の代謝について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「1.アミノ酸・たんぱく質の構造・機能」～「3.体内代謝（A）」を読んで予習する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 10 回　たんぱく質の栄養② 【学修内容】　アミノ酸の代謝（利用と排泄）、たんぱく質の質の評価、たんぱく質の摂取方法について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「3.体内代謝（B）」～「6.他の栄養素との関係」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 11 回　ビタミンの栄養① 【学修内容】　ビタミンの概要、ビタミンの種類、脂溶性ビタミンの働きについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「1.ビタミンの構造と機能（A）」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 12 回　ビタミンの栄養② 【学修内容】　水溶性ビタミンの働き、ビタミンと他の栄養素の関係を学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「1.ビタミンの構造と機能（B）」～「4.他の栄養との関係」を読んで予習する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 13 回　ミネラル（無機質）の栄養 【学修内容】　多量ミネラルと微量ミネラルの種類と働きについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「ミネラルの栄養」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 14 回　水・電解質の栄養的意義 【学修内容】　生命活動に必要な水の働き、体内水分の構成、脱水と浮腫（むくみ）ついて学ぶ。 【事前学修】　教科書第9章「水・電解質の栄養的意義」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 15 回　エネルギー代謝 【学修内容】　基礎代謝や身体活動によるエネルギー消費、臓器別のエネルギー代謝を学ぶ。 【事前学修】　教科書第10章「エネルギー代謝」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
評価方法	筆記試験（80%）、平常点（20%）　平素の受講態度等を加味する。
教科書	栄養科学イラストレイテッド「基礎栄養学 第5版」（田地陽一編、羊土社）
参考書 参考資料等	適宜資料を配付する。
備考	

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養学各論	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	上　坂　真智子
科目コード　SgAAA10402							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	さまざまな世代に関わる栄養士。各世代による心身の状態や変化を理解した上で食事（栄養素）の提供および食事指導が必要となる。そのための栄養学的知識の修得を念頭におきながら積極的に受講する。
授業の目的・概要	栄養士の業務は、世代による体と心の状態・変化を把握し、多くの方々の健康維持・増進、疾病予防のための食生活に関わっていかなければならない。人間が誕生し発育～成熟～加齢して行く過程、すなわち「妊娠期、新生児・乳児期、成長期、成人期、高齢期」それぞれのライフステージにおける心身の状況や栄養管理の特性を理解することが大事となる。生涯を通して適切な食生活を実践するための専門知識を学修することが目的となる。少子高齢化が加速する中、より一層ニーズが高まる栄養士。各世代の健康に関する栄養学を学ぶことで、社会に貢献できる栄養士となることを目標とする。
到達目標	①　ライフステージ毎の心身の特徴と栄養管理の特性が理解できる。 ②　ライフステージに適した栄養や食事の重要性を認識し、好ましい食生活について考察することができる。 ③　スポーツやストレス時の栄養について理解ができる。
授業の進め方	教科書と配付資料により授業を進める。

第　1　回　栄養学各論と栄養士の仕事
【学修内容】　栄養士の仕事を動画などで学ぶ。
【事前学修】　栄養士の仕事、考え方などについて本やサイトで調べておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだこと、感じたことをまとめる。（2時間）

第　2　回　栄養ケア・マネジメント
【学修内容】　個々人に適切な栄養管理を行うための栄養状態の判定、アセスメント、栄養ケア計画について学ぶ。
【事前学修】　教科書第1章「栄養ケア・マネジメント」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

第　3　回　食事摂取基準
【学修内容】　健康の維持・増進、生活習慣病を予防するための栄養素の基準値を示した「日本人の食事摂取基準」を学ぶ。
【事前学修】　教科書第2章「食事摂取基準」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

第　4　回　成長・発達・加齢
【学修内容】　成長・発達・発育の概念と栄養、加齢に伴う心身の変化と栄養について学ぶ。
【事前学修】　教科書第3章「成長、発達、加齢」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

第　5　回　妊娠期
【学修内容】　妊娠期の母体と胎児の生理的変化、妊娠期に必要な栄養素について学ぶ。
【事前学修】　教科書第4章「1.妊娠期の生理的特徴A～D」「2.妊娠期の栄養ケアA、B」を読んで予習する。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

第　6　回　妊娠期の疾病、授乳期
【学修内容】　妊娠期に起こりやすい疾病、授乳期について学ぶ。
【事前学修】　教科書第4章「2.妊娠期の栄養ケアC～J」「1.授乳期の生理的特徴E～G」を読んで予習する。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

第　7　回　新生児期、乳児期
【学修内容】　新生児期、乳児期の生理的特徴と栄養ケア、離乳期について学ぶ。
【事前学修】　教科書第5章「新生児期、乳児期」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

授業計画	第 8 回　幼児期 【学修内容】　幼児期の生理的特徴と栄養について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「1. 幼児期の生理的特徴」「2.幼児期の栄養ケア」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 9 回　学童期、思春期 【学修内容】　学童期、思春期の生理的特徴と栄養について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「3. 学童期・思春期の生理的特徴」「4. 栄養ケア」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 10 回　成人期 【学修内容】　成人期、更年期の生理的特徴と栄養、メタボリックシンドローム、生活習慣病について学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「成人期」を読んでを予習しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 11 回　高齢期① 【学修内容】　高齢期の身体的変化、フレイルやサルコペニアについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「1. 高齢期の生理的特徴」「2.高齢期の栄養ケアA～C」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 12 回　高齢期② 【学修内容】　高齢期の骨粗鬆症、認知症、嚥下障害、低栄養について学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「2.高齢期の栄養アセスメントと栄養ケアD～I」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 13 回　栄養ケアとコミュニケーションの必要性 【学修内容】　患者や利用者などの喫食者、ご家族、多職種スタッフと関わるためのコミュニケーションスキルを学ぶ。 【事前学修】　コミュニケーション、カウンセリング、コーチング、ナッジについて調べておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだこと、感じたことをまとめる。（2時間） 第 14 回　運動・スポーツと栄養 【学修内容】　運動時のエネルギー代謝、運動時の栄養ケアを学ぶ。 【事前学修】　教科書第9章「運動・スポーツと栄養」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 15 回　環境と栄養 【学修内容】　ストレスの概要、ストレスと栄養ケアについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第10章「環境と栄養」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
評価方法	筆記試験（80%）、平常点（20%）　平素の受講態度等を加味する。
教科書	栄養科学イラストレイテッド　応用栄養学　第3版（栢下 淳、上西 一弘編、羊土社）
参考書 参考資料等	適宜資料を配付する。
備考	

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養指導論Ⅰ	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	井　塚　ふみ子
科目コード　SgAAA10501							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し単位を修得しなければ、栄養指導論Ⅱは受講できない。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	食の専門家としての正しい知識を修得し、それを指導に用いる手段を学ぶ。 対象となる個人及び集団の問題点を発見し、改善に向けて指導し得る基礎知識を学ぶ。 まずは自身の生活習慣・食習慣を振り返り、日頃の健康管理を行えるようになることから、 食に対する意識の向上・総合的な学修意欲の向上を促す。
到達目標	①　栄養指導に必要な基礎知識を理解し、日常生活で実践できる。 ②　食事の重要性を知り、運動・睡眠等の関わりを理解するとともに、自己の食生活の在り方が観察できる。 ③　栄養士活動の現状を把握できる。
授業の進め方	教科書及び配付するプリントを基本とした講義により授業を進める。 演習や小テストを実施し、授業の振り返りを行う。

第　1　回	オリエンテーション
【学修内容】	栄養指導論Ⅰについての解説をする。　（レポート提出）
【事前学修】	シラバスを読み、授業内容を把握しておく。（2時間）
【事後学修】	栄養指導論を学ぶ意義を理解する。（2時間）
第　2　回	栄養指導の概念と歴史
【学修内容】	栄養指導の意義と目的および目標を理解する。　栄養指導における栄養士・管理栄養士の役割を理解する。
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	栄養指導の概念、歴史について再確認する。身体計測から栄養状態を把握する方法を再確認する。（2時間）
第　3　回	栄養指導と関係法規
【学修内容】	栄養士法と栄養士制度を理解する。　栄養指導に関係する法律を理解する。
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	栄養指導と関係法規を再確認する。　推定エネルギー必要量の算定を再確認する。（2時間）
第　4　回	食生活・栄養に関する諸調査
【学修内容】	食事調査方法と種類、活用場面に応じた適切な方法の選択、国民健康・栄養調査についてを理解する。
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	食生活・栄養に関する諸調査を再確認する。　3日分の食事記録を完成させる。（2時間）
第　5　回	栄養指導・教育(相談)の方法と技術
【学修内容】	栄養教育プログラムの流れを確実に理解する。　情報伝達の演習で技術を身につける。
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	栄養指導・教育（相談）の方法と技術を再確認する。2時間）
第　6　回	栄養指導の実際
【学修内容】	目的や対象者にあわせて指導方法を選択する。コミュニケーションの理論と技術、カウンセリングを理解する。
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	栄養指導の実際について再確認する。（2時間）
第　7　回	食生活と栄養指導①
【学修内容】	第2回～6回の授業範囲で小テストをする。試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。
【事前学修】	出題範囲を復習する。（2時間）
【事後学修】	模範解答を再確認し、理解を深める。（2時間）

授業計画	第 8 回　栄養指導に必要な基礎知識 【学修内容】　日本人の食事摂取基準の概念と活用を理解する。　指針、食育推進や健康増進の取り組みを理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　栄養指導に必要な基礎知識を再確認する。(2時間） 第 9 回　栄養指導と情報の収集・処理 【学修内容】　情報を評価・識別する能力を養うことの必要性を理解する。　SOAPを用いて栄養ケアプロセスを記録する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　栄養指導と情報の収集・処理を再理解する。（2時間） 第 10 回　給食における栄養指導（病院給食） 【学修内容】　病院給食施設における栄養管理をされた給食を活用した、栄養指導の内容と方法を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　病院給食における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 11 回　給食における栄養指導（学校給食） 【学修内容】　学校給食施設における給食目的に対応した栄養指導の特性を探る。ジュニアアスリートへの教育を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　学校給食における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 12 回　給食における栄養指導（事業所給食） 【学修内容】　事業所給食における、喫食者のさまざまな特性に応じた栄養指導の内容や方法を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　事業所給食における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 13 回　給食における栄養指導（児童・社会福祉施設） 【学修内容】　児童・社会福祉施設における給食目的に対応した栄養指導の特性を探り、内容や方法を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　児童・社会福祉施設における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 14 回　食事記録から実践アドバイス演習 【学修内容】　食事記録を評価し、アドバイスをするまでの流れを理解する。　小テスト・定期テストの試験対策をする。 【事前学修】　今までの授業内容を振り返る。（2時間） 【事後学修】　実践アドバイスの流れを再確認する。（2時間） 第 15 回　食生活と栄養指導② 【学修内容】　第8回～14回の授業範囲で小テストをする。試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。 【事前学修】　出題範囲を復習する。（2時間） 【事後学修】　模範解答を再確認し、理解を深める。　定期試験に向けて復習する。（2時間）
評価方法	筆記試験（90%）、小テスト・提出物・平素の受講態度（10%）等を加味する。
教科書	エスカベーシック栄養指導論　第三版（古畑　公・田中弘之編著、同文書院）
参考書 参考資料等	日本人の食事摂取基準（2025年版） 管理栄養士栄養士必携（第一出版） 必要な時は適宜資料を配付する。
備考	提出物の期限厳守。 実務経験のある教員：北海道内の病院における栄養指導に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養指導論Ⅱ	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	井　塚　ふみ子
科目コード　SgAAA10502							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養指導論Ⅰを履修し、単位を修得しなければ、本科目を受講できない。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士の業務内容は、栄養士の名称を用いて「栄養の指導を業とする者」となっており、栄養指導は最も基礎となるものである。 ① 栄養教育の理論と技術を学び、科学的根拠を持って食生活をマネジメントする手段を知る。 ② ライフステージに合わせた栄養を学び、ライフステージ別の栄養指導に求められる基礎知識の構築・実践につなげる要点を学ぶ。 ③ 疾病別の栄養を学び、食事療法の正しい知識を身に付ける。
到達目標	① 地域社会の健康目標に役立つ栄養士となるよう、能力の向上に努める。 ② 人に優しく、健全な食生活を導くための広い視野と多くの知識を養う。
授業の進め方	① 教科書及び配付するプリントから栄養指導のアセスメント、マネジメント等を学ぶ。 ② パワーポイント、食品カード等の媒体を使用した栄養指導の実際を知る。 ③ ライフステージ別・疾病別の栄養指導のポイントを学ぶ。 ④ 確認テストや小テストを実施し、授業の振り返りを行う。

第 1 回	オリエンテーション
【学修内容】	栄養指導Ⅱを解説をする。　健康食品について、コミュニケーションの取り方について学ぶ。
【事前学修】	シラバスを読み、授業内容を把握しておく。（2時間）
【事後学修】	健康食品、栄養指導時の留意点など再確認する。（2時間）
第 2 回	ライフステージ別栄養指導：妊娠期・授乳期
【学修内容】	妊娠期・授乳期の特徴を理解し、問題点を提起して、栄養マネジメントができるように努める。（確認テスト）
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	妊娠期・授乳期の栄養指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 3 回	ライフステージ別栄養指導：乳幼児期・学童期・思春期
【学修内容】	各々の特徴を理解し、問題点を提起して、栄養マネジメントができるように努める。（確認テスト）
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	乳幼児期・学童期・思春期の栄養指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 4 回	ライフステージ別栄養指導：成人期・高齢期
【学修内容】	成人期・高齢期の特徴を理解し、問題点を提起して、栄養マネジメントができるように努める。（確認テスト）
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	成人期・高齢期の栄養指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 5 回	特定健診・特定保健指導
【学修内容】	標準的な特定健診・特定保健指導プログラムを理解する。減量のプランニングシートを作成する。（確認テスト）
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	特定健診・特定保健指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 6 回	食生活と栄養指導③
【学修内容】	第1回～5回の授業範囲で小テストをする。　試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。
【事前学修】	出題範囲を復習する。（2時間）
【事後学修】	模範解答を再確認し、理解を深める。（2時間）
第 7 回	疾病治療と栄養指導：糖尿病
【学修内容】	糖尿病の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。　（確認テスト）
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。　糖尿病食事療法のための食品交換表を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	糖尿病の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）

授業計画	第 8 回　疾病治療と栄養指導：高血圧 【学修内容】　高血圧の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。　（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　高血圧の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 9 回　疾病治療と栄養指導：慢性腎臓病（CKD） 【学修内容】　慢性腎臓病の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　慢性腎臓病の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 10 回　食生活と栄養指導④ 【学修内容】　第7回～9回の授業範囲で小テストをする。　試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。 【事前学修】　出題範囲を復習する。（2時間） 【事後学修】　模範解答を再確認し、理解を深める。（2時間） 第 11 回　疾病治療と栄養指導：肝臓病 【学修内容】　肝臓病の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　肝臓病の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 12 回　疾病治療と栄養指導：脂質異常症・肥満症 【学修内容】　各々の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　脂質異常症・肥満症の栄養指導を再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 13 回　疾病治療と栄養指導：ガン 【学修内容】　ガンの治療や合併症など、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。　（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　ガンの栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 14 回　栄養指導：食物アレルギー 【学修内容】　食物アレルギーの食事療法と栄養指導を理解する。（確認テスト）小テスト・定期テストの試験対策をする。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　食物アレルギーの食事療法と栄養指導方法について、再確認する。確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 15 回　食生活と栄養指導⑤ 【学修内容】　第11回～14回の授業範囲で小テストをする。試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。 【事前学修】　出題範囲を復習する。（2時間） 【事後学修】　模範解答を再確認し、理解を深める。定期試験に向けて復習する。（2時間）
評価方法	筆記試験（90%）、小テスト・提出物・平素の受講態度（10%）等を加味する。
教科書	エスカベーシック栄養指導論　第三版（古畑　公・田中弘之編著、同文書院）
参考書 参考資料等	糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会編・著、文光堂） 日本人の食事摂取基準（2025年版） 管理栄養士栄養士必携（第一出版） 必要な時は適宜資料を配付する。
備考	提出物の期限厳守。 実務経験のある教員：北海道内の病院における栄養指導に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理学	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	上　坂　真智子
科目コード　SgAAA10601							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養士の基本となる献立作成などの業務を行う上で必要となる調理学の知識。このことを念頭に積極的に受講する。
授業の目的・概要	食品の特徴や調理に関する知識があることで献立作成がしやすくなり、喫食者が喜ぶおいしい給食につながる。また調理学の知識は栄養指導の時などに簡単な調理法などを伝えることができ、患者や利用者、対象者などが健康を保つ食事や治療食が作りやすくなる。調理学を学ぶことで栄養士として大きな力になることを目的とする。
到達目標	心身が健やかになるおいしい給食を提供できる栄養士を目指す。 ① 調理の意義、目的を理解する。 ② 食品の味、おいしさについて理解する。 ③ 食品の特徴、調理器具、食べる環境について理解する。 ④ 食材の特徴を生かした調理法について理解する。
授業の進め方	教科書と配付資料により授業を進める。

第1回	オリエンテーション、調理の概要
【学修内容】	調理とは何か、調理と歴史、食生活の変化と調理について学ぶ。
【事前学修】	調理の歴史などを調べておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第2回	調理と嗜好性
【学修内容】	おししさとは何か、五感による嗜好性について学ぶ。
【事前学修】	教科書第1章「調理と嗜好性」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第3回	調理操作
【学修内容】	調味操作、非加熱調理操作、加熱調理操作について学ぶ。
【事前学修】	教科書第2章「調理操作」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第4回	植物性食品の調理性（米、小麦の調理）
【学修内容】	米の種類と調理、小麦の種類と調理について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「米の調理」「小麦の調理」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第5回	植物性食品の調理性（いも類、豆類の調理）
【学修内容】	いもの種類と調理、豆の種類と調理について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「いも類の調理」「豆類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第6回	植物性食品の調理性（野菜類、果実類の調理）
【学修内容】	野菜の種類と調理・褐変・栄養素と調理、果実の種類と調理・嗜好特性について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「野菜類の調理」「果実類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第7回	植物性食品の調理性（種実類、きのこ類、海藻類、山菜類の調理）
【学修内容】	種実類の種類と調理、きのこ類と海藻類の種類と調理、山菜類について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「種実類の調理」「きのこ類の調理」「海藻類の調理」「山菜類」を読んで予習する。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

授業計画	第8回　動物性食品の調理性（食肉の調理） 【学修内容】　たんぱく質の調理上の性質、食肉の調理性、種類別の調理について学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章「たんぱく質の調理上の性質」「食肉類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第9回　動物性食品の調理性（魚介類の調理） 【学修内容】　魚介類の種類と特徴、魚肉の特性、魚の調理について学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章「魚介類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第10回　動物性食品の調理性（鶏卵、牛乳・乳製品の調理、その他） 【学修内容】　卵の構造・鮮度・調理性、牛乳と乳製品の調理、食物アレルゲンについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章「鶏卵の調理」「牛乳・乳製品の調理」「その他」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第11回　成分抽出素材の調理性 【学修内容】　でんぷんの特性と調理、ゲル化剤（ゼラチン、寒天など）、油脂類、新食材の調理について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章「成分抽出素材の調理性」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第12回　嗜好飲料 【学修内容】　茶やコーヒーなどの非アルコール飲料、アルコール飲料について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「嗜好飲料」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第13回　エネルギー源および調理器具 【学修内容】　調理に関わる調理機器、調理器具、食器類について学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「エネルギー源および調理器具」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第14回　食事設計と食事様式 【学修内容】　食事設計の内容、献立作成のポイント、食事様式、食事環境について学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「食事設計と食事様式」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第15回　大量調理 【学修内容】　大量調理の特性、衛生管理、クックチルなど集団給食の調理方式について学ぶ。 【事前学修】　教科書第9章「大量調理」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
評価方法	筆記試験（90%）平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教科書	新食品・栄養科学シリーズ「調理学 第3版」（木戸詔子、池田ひろ編、化学同人）
参考書 参考資料等	調理のためのベーシックデータ第6版（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部）
備考	

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理学実習Ⅰ	実習	1	選択	必修	必修	1年・前期	遠田悦子
科目コード　SgAAC10602							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し、単位を修得しなければ、調理学実習Ⅱは受講できない。
授業の目的・概要	調理学で学んだ知識を活かし調理を科学的な視点から捉え、その実態を理解するとともに、食材の選択、扱い方、調味、盛付けについて総合して学修する。 調理操作の基本的技術と基礎知識を実習を通して修得させることを目的とする。
到達目標	①　健康の維持・増進を目的とした栄養、調理の基礎を学び知識・技術を身に付ける。 ②　食の安心・安全を前提とした衛生的な調理ができる。 ③　食品の重量、特徴及び調理における変化を実践を通して理解する。
授業の進め方	はじめに教員より、実習内容のデモンストレーションがあり、その後、各自班に分かれて実習を行う。実習後に教員より評価を行い、検食、後片付け、掃除、点検がある。

第 1 回	オリエンテーション
【学修内容】	調理学実習の目的と意義、調理学実習の心得
【事前学修】	食材や調理に関する情報を考察する。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（0.5時間）
第 2 回	調理の基本操作Ⅰ
【学修内容】	計量・計測、基本切りⅠ
【事前学修】	計量・計測の目的を調べまとめる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 3 回	調理の基本操作Ⅱ
【学修内容】	基本切りⅡ
【事前学修】	野菜の基本的な切り方を調べそれぞれの名称や操作方法を調べる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 4 回	調理の基本操作Ⅲ
【学修内容】	炊飯の原理と調理、だしのとり方
【事前学修】	炊飯の理論とだしの種類を予習する。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 5 回	日本料理の基礎Ⅰ
【学修内容】	塩味飯、吸い物、肉料理、和え物
【事前学修】	汁物の調味パーセントについて計算方法・計測方法を予習する。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 6 回	日本料理の基礎Ⅱ
【学修内容】	炊きおこわ、吸い物、魚料理Ⅰ（選び方、扱い方）
【事前学修】	魚の選び方・扱い方・調理方法について調べる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 7 回	日本料理の基礎Ⅲ
【学修内容】	醤油味飯、吸い物、和え物
【事前学修】	炊き込みご飯の方法・加える材料について調べてまとめる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

授業計画	第 8 回　日本料理の基礎Ⅳ 【学修内容】　白飯、魚料理Ⅱ（おろし方）、揚げ物、和菓子Ⅰ 【事前学修】　揚げ物の方法と吸油率について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 9 回　日本料理の基礎Ⅴ 【学修内容】　丼物、汁物、和菓子Ⅱ 【事前学修】　和菓子の種類や日本茶の種類について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 10 回　西洋料理の基礎Ⅰ 【学修内容】　パン料理、サラダ、デザート 【事前学修】　西洋料理の献立や特徴について調べまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 11 回　西洋料理の基礎Ⅱ 【学修内容】　肉料理、スープ、冷生菓子 【事前学修】　ひき肉の調理・副材料の役割について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 12 回　中国料理の基礎Ⅰ 【学修内容】　麺料理、揚げ物、菓子 【事前学修】　中国料理の献立や特徴について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 13 回　中国料理の基礎Ⅱ 【学修内容】　妙菜、蒸菜、点心 【事前学修】　中国料理の点心や飲茶について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 14 回　まとめⅠ 【学修内容】　食材の扱い・調理実習のまとめ 【事前学修】　旬の食材や行事食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 15 回　まとめⅡ 【学修内容】　諸外国の料理について 【事前学修】　諸外国の食文化・食材などについて調べまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
評価方法	実技（45%）、提出物・クッキングノート等（45%）、平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教科書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） 新食品・栄養科学シリーズ「調理学 第3版」（木戸詔子、池田ひろ編、化学同人）
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理学実習Ⅱ	実習	1	選択	必修	必修	1年・後期	遠田悦子
科目コード　SgAAC10603							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	調理学実習Ⅰを履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。
授業の目的・概要	調理学実習Ⅰで修得した調理操作の基本技術の応用と、日本料理、西洋料理、中国料理、季節の行事食の知識と技術を修得する。 食材の特性や栄養を生かした調理法を学び、効率よく調理するための手順を考え、調理器具の正しい使用法等基本的な調理操作の習熟を図り、給食実習、栄養学実習や臨床栄養学実習等の実習に応用できる調理技術と実践力を身に付ける。
到達目標	①　基本的な調理技術を基に、それぞれの調理、行事食について理解する。 ②　調理学の理論の知識を活かし、実際の調理による変化、現象を理解する。 ③　基本的な献立を効率よく、それぞれの料理が適温で盛り付けも美しく仕上げることができる。
授業の進め方	はじめに教員より実習内容のデモンストレーションがあり、その後、各自班に分かれて実習を行う。 実習後に教員より評価を行い、検食、後片付け、掃除、点検がある。

第　1　回　　調理学実習Ⅰの復習
【学修内容】　食材の扱い・基本切り・加熱機器の使い方
【事前学修】　調理学実習Ⅰで学んだ実習についてクッキングノートを見ながら復習する。（0.5時間）
【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（0.5時間）

第　2　回　　日本料理の基礎Ⅵ
【学修内容】　飯、汁物、和え物
【事前学修】　日本料理の旬の食材の扱いや調理方法について調べる。（0.5時間）
【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

第　3　回　　西洋料理の基礎Ⅲ
【学修内容】　飯料理、スープ、デザート
【事前学修】　西洋料理献立や調理の特徴などについて調べる。（0.5時間）
【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

第　4　回　　西洋料理の基礎Ⅳ
【学修内容】　麺料理、サラダ、デザート
【事前学修】　小麦粉の調理特性について調べる。（0.5時間）
【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

第　5　回　　西洋料理の基礎Ⅴ
【学修内容】　魚料理、サラダ、デザート
【事前学修】　西洋料理のカトラリーについてまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

第　6　回　　中国料理の基礎Ⅲ
【学修内容】　中国料理の特徴、献立形式
【事前学修】　中国料理の特徴、献立形式について調べる。（0.5時間）
【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

第　7　回　　中国料理の基礎Ⅳ
【学修内容】　湯菜、炸菜、冷菜
【事前学修】　中国料理の調味料・香辛料についてどのような料理に使用されているか調べる。（0.5時間）
【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

授業計画	第 8 回　中国料理の基礎Ⅴ 【学修内容】　湯菜、妙菜、冷菜 【事前学修】　中国料理の調理器具について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 9 回　中国料理の基礎Ⅵ 【学修内容】　溜菜、拌菜、点心 【事前学修】　溜菜の特徴と調理の留意点についてまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 10 回　行事食Ⅰ 【学修内容】　クリスマス料理Ⅰ 【事前学修】　世界のクリスマス料理について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 11 回　行事食Ⅰ 【学修内容】　クリスマス料理Ⅱ 【事前学修】　クリスマスのメニューを考え考察する。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 12 回　行事食Ⅱ 【学修内容】　お正月料理 【事前学修】　お正月料理の地域性や食材の違いなど調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 13 回　行事食Ⅲ 【学修内容】　お祝い料理 【事前学修】　季節の行事食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 14 回　まとめⅠ 【学修内容】　調理技術のまとめ 【事前学修】　授業で学んだ食材や調味料について調べまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 15 回　まとめⅡ 【学修内容】　調理技術のまとめ 【事前学修】　授業で習った食材や料理法を基に旬の食材を使った料理を考える。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容を復習しまとめておく。（1時間）
評価方法	実技（45%）、提出物・クッキングノート等（45%）、平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教科書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） 新食品・栄養科学シリーズ「調理学 第3版」（木戸詔子、池田ひろ編、化学同人）
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食経営論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	木野村　美花
科目コード　SgAAA10604							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し単位を修得しなければ、給食実習Ⅱを受講できない。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士の専門業務である特定給食施設における給食業務について、計画に必要な基礎知識及び給食運営に必要な基礎知識及び調理現場での管理の実際を学び、望ましい給食やサービスのあり方を修得することを目的とする。 集団給食の概要を理解し、栄養管理、食品管理、衛生管理及び調理管理等の目的と方法を理解し、給食現場における望ましい給食管理のあり方を修得する。また、給食運営の中心的役割を果たす献立作成の方法も学ぶ。
到達目標	特定給食施設における給食管理の基本的知識を理解する。具体的には、 ① 特定給食施設の概要や特徴を理解し、望ましい給食のあり方を理解する。 ② 給食運営上中心的な役割を果たす献立作成に必要な知識を身に付ける。 ③ 大量調理施設衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の内容を理解する。 ④ 給食現場での食品管理、調理管理及び事務管理等について理解する。
授業の進め方	教科書を中心に、授業時に配付する資料等を併用し、授業を進める。

第 1 回	オリエンテーション、給食の概念
【学修内容】	授業概要についての説明、給食の定義と目的、関係法規
【事前学修】	シラバスおよび教科書「給食の運営」第1章を一読する。不明な点、用語について調べる。（1時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（1時間）
第 2 回	栄養管理
【学修内容】	栄養・食事管理の目的と実際
【事前学修】	教科書第２章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 3 回	安全・衛生管理
【学修内容】	安全・衛生管理の目的と実際
【事前学修】	教科書第3章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 4 回	調理管理Ⅰ
【学修内容】	食材管理
【事前学修】	教科書第5章１を一読する。不明な点、用語について調べる。（1時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 5 回	調理管理Ⅱ
【学修内容】	調理作業管理
【事前学修】	教科書第5章２を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 6 回	献立作成Ⅰ
【学修内容】	献立作成の基礎
【事前学修】	図書館等で献立作成のための資料を集める。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（3時間）

授　業　計　画	第　7　回　　献立作成Ⅱ 【学修内容】　献立作成の実際 【事前学修】　献立課題に取り組む。（3時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（3時間） 第　8　回　　施設・設備管理 【学修内容】　施設・設備管理の目的と実際 【事前学修】　教科書第6章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第　9　回　　事務管理・経営管理 【学修内容】　給食の組織、会計・原価管理、事務管理 【事前学修】　教科書第8章、第9章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 10 回　　献立作成Ⅲ 【学修内容】　献立の見直し、改善 【事前学修】　図書館等で献立作成のための資料を集める。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（3時間） 第 11 回　　各種の給食管理Ⅰ 【学修内容】　学校給食・自衛隊給食 【事前学修】　教科書第7章１および６を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 12 回　　各種の給食管理Ⅱ 【学修内容】　病院給食 【事前学修】　教科書第7章２を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 13 回　　各種の給食管理Ⅲ 【学修内容】　福祉施設給食 【事前学修】　教科書第7章3および４を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 14 回　　給食の業務委託と配食サービス 【学修内容】　業務委託の種類と栄養士の業務、配食サービスの意義 【事前学修】　教科書第7章５・７および８を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 15 回　　まとめ 【学修内容】　これまで学んだ内容についてまとめを行う。 【事前学修】　これまでの授業のふりかえりを行う。（1時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（60%）、提出物等（30%）、平常点（10%）、平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	Nブックス改訂給食の運営ー栄養管理・経営管理ー（逸見幾代ほか編著、建帛社） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大出版部） 給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実務論	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	佐藤　恵
科目コード　SgAAA10605							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	１年生で開講されている給食経営論、給食実習Ⅰ、本科目、及び２年生で開講される給食実習Ⅱを履修し単位を修得しなければ、給食実習Ⅲを受講できない。
授業の目的・概要	集団給食の運営にかかわる、栄養管理、衛生管理、作業管理等について、基本的知識を学び、給食業務に必要な実務を理解する。 また、そのことにより、給食現場における実務を修得し、今後の学内及び学外実習、さらには栄養士業務に活かすことを目的とする。
到達目標	特定給食施設における給食管理の実務について理解する。具体的には、 ① 大量調理の技法・特徴を理解すること。 ② 大量調理施設衛生管理マニュアルに沿った衛生管理を十分理解すること。 ③ 食事摂取基準と食品構成の内容を理解し、給与栄養目標量に基づいた献立作成ができること。
授業の進め方	教科書、実習ノート、配付資料を中心に進める。

第 1 回	オリエンテーション、大量調理の技法と特徴
【学修内容】	授業概要についての説明、大量調理の技法と特徴について
【事前学修】	シラバスおよび教科書「給食運営・経営管理実習のてびき」Ⅱ〈2〉4～10を一読し、不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 2 回	衛生管理Ⅰ：給食実習での衛生管理
【学修内容】	大量調理における手洗いの重要性、給食実習室での衛生管理の実際について
【事前学修】	手洗いの重要性について調べる。給食実習ノートの該当箇所を一読する。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 3 回	作業管理：作業工程表・作業動線図について
【学修内容】	作業工程表・作業動線図について、その作成目的と方法、留意点
【事前学修】	作業工程表・作業動線図について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 4 回	衛生管理Ⅱ：大量調理施設衛生管理マニュアル
【学修内容】	大量調理施設衛生管理マニュアルについて
【事前学修】	教科書「給食の運営」巻末の大量調理施設衛生管理マニュアルを一読する。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 5 回	栄養教育・調査・食環境：栄養教育媒体、調査、食環境の整備について
【学修内容】	栄養教育媒体の役割、種類、注意点、嗜好調査・残菜調査の方法とまとめ方、食環境の整備について
【事前学修】	栄養教育媒体、アンケート調査、食環境整備について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 6 回	栄養管理Ⅰ：日本人の食事摂取基準について
【学修内容】	日本人の食事摂取基準の概要、活用について
【事前学修】	日本人の食事摂取基準について教科書「献立作成マニュアル」第2章２を一読する。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

授業計画	第 7 回　栄養管理Ⅱ：献立作成までの手順、給与栄養目標量の計算 【学修内容】　献立計画の流れ、給与栄養目標量について、給与栄養目標量の求め方 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第2章３を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 8 回　栄養管理Ⅲ：食品群別荷重平均栄養成分について、食品構成について 【学修内容】　食品群別荷重平均栄養成分・食品構成の作成方法について 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第2章4・5を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 9 回　栄養管理Ⅳ：献立作成① 【学修内容】　献立の立案と献立計画について、連続献立の作成について 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第3章１を一読する。献立課題に必要な資料を集める。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 10 回　栄養管理Ⅴ：献立作成② 【学修内容】　連続献立の立案 【事前学修】　献立課題に取り組む。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 11 回　栄養管理Ⅵ：献立作成③ 【学修内容】　連続献立の立案 【事前学修】　献立課題に取り組む。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 12 回　栄養管理Ⅶ：献立作成④ 【学修内容】　連続献立の立案 【事前学修】　献立課題に取り組む。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 13 回　給食評価　：PDCAサイクルの活用、評価の留意点 【学修内容】　評価の仕方、重要性、留意点について、価格計算 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第3章３，第4章を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 14 回　講義のまとめⅠ 【学修内容】　献立作成が上手になるために、給食実務論のまとめ 【事前学修】　これまでの学修をふりかえる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 15 回　講義のまとめⅡ 【学修内容】　給食実務論のまとめ 【事前学修】　これまでの学修をふりかえる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
評価方法	筆記試験（60%）、提出物等（35%）献立課題等、平常点（5%）平常の受講態度。
教科書	給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） Nブックス改訂給食の運営－栄養管理・経営管理－（逸見幾代ほか編著、建帛社）
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅰ	実習	1	選択	必修	必修	1年・後期	佐藤　恵
科目コード　SgAAC10606							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し、単位を修得し、更に実習内規細則に定められた要件を満たさなければ、給食実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを受講できない。 グループワークのため、協力と助け合いが重要である。また、将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	集団給食はそれぞれの給食施設において、その設置目的と対象者の実情に沿って計画的、継続的に提供する食事である。給食実習Ⅰでは、給食実習室を使用して、給食の手順、方法等給食管理の全般にわたり、学生自らが自主的に計画を立て、分担の作業を果たしながら協力と責任の重要性を体験しつつ、大量調理に必要な知識、技術を体系的に学修する。
到達目標	大量調理施設における給食業務全般にわたる栄養管理、作業管理、衛生管理等給食運営の基礎を、実習を通して修得することを目標とする。
授業の進め方	給食を運営する上での計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Act）のサイクルを、作業を分担し、協力しながらグループで実習を進める。

第 1 回	オリエンテーション、実習の意義と目的、実習の進め方
【学修内容】	授業概要、実習の心構え、グループ活動計画、試作準備について
【事前学修】	シラバスおよび給食実習ノートを一読する。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 2 回	実習ノート及び作成書類の説明、グループ別活動
【学修内容】	発注に必要な書類、発注方法の説明、グループ別活動（試作準備など）
【事前学修】	実習献立について前期の調理学実習Ⅰをふりかえり、作り方、注意点を確認する。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 3 回	実習ノート及び作成書類の説明、グループ別活動
【学修内容】	作業工程表、検収記録簿の作成について、グループ活動（試作準備、試作・試作検討会など）
【事前学修】	作業工程表、検収について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 4 回	実習ノート及び作成書類の説明、グループ別活動
【学修内容】	作業工程表、検収記録簿の作成について、グループ活動（試作準備、試作・試作検討会など）
【事前学修】	グループで作成する給食献立について、作業の手順など確認しておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 5 回	グループ別活動
【学修内容】	グループ別活動（発注準備、実習準備など）
【事前学修】	実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 6 回	グループ別活動
【学修内容】	グループ別活動（発注、実習準備など）
【事前学修】	実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 7 回	グループ別活動
【学修内容】	日程表により、グループ別活動（実習、実習準備など）
【事前学修】	実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）

授業計画	第 8 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（実習のふりかえり、実習、実習準備など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第 9 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（献立検討、実習のふりかえり、実習、実習準備など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第10 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（発注、献立検討、実習のふりかえり、実習など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第 11 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（発注、献立検討、実習のふりかえり、実習など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第12 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（発注、献立検討、実習のふりかえり、実習など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第13 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（発注、実習のふりかえり、実習など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第14 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（実習、実習のふりかえりなど） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第15 回　給食実習Ⅰのまとめ 【学修内容】　給食実習Ⅰのふりかえりとまとめ 【事前学修】　これまでの実習について、実習ノートなどに目を通し、ふりかえる。（0.5時間） 【事後学修】　給食実習Ⅰで学んだことをふりかえりシートにまとめる。（0.5時間）
評価方法	筆記試験（40%）、実習（40%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教科書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） Nブックス改訂給食の運営ー栄養管理・経営管理ー（逸見幾代ほか編著、建帛社） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版）
参考書 参考資料等	教材：学内実習ノート 大量調理施設衛生管理マニュアル
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
学校栄養指導	講義	2	選択		必修	1年・後期	田　中　ゆかり
科目コード　SgZAA10701							担当形態：単独

栄養に係る教育に関する科目	科目に含める必要事項
	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項並びに食に関する指導の方法に関する事項

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。将来栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養教諭は、学校において給食管理と食に関する指導を行う教育に関する資質と栄養に関する専門性を併せ持つ教員である。 本講は、学校給食の教育的意義と役割、学校組織と栄養教諭の位置付け等を理解した上で学校給食を活用した食に関する指導・他の教員との連携協力による食に関する領域や内容に関する指導等を行うために食育に関する様々な知識・技能を修得する。
到達目標	①　学校組織の中での栄養教諭の位置付け、役割を理解する。 ②　食に関する指導の必要性、児童・生徒への教科・特別活動等における教育指導を理解した上で食に関する指導の授業指導案の作成ができる。 ③　児童・生徒への個別相談指導の意義の理解をする。
授業の進め方	教科書・配付プリント・資料等を併用し、授業を進める。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　食に関する指導の意義
【事前学修】　栄養教諭制度創設の背景を考える。　（2時間）
【事後学修】　自分の目指す栄養教諭像についてまとめる。　（2時間）
第　2　回　　食に関する指導に係る法令
【学修内容】　諸制度・栄養教諭の職務内容、使命、役割
【事前学修】　栄養教諭の職務について調べる。　（2時間）
【事後学修】　栄養教諭の諸制度についてまとめる。　（2時間）
第　3　回　　学校給食の歴史・学校における食育推進の必要性
【学修内容】　学校組織と栄養教諭の位置付け、児童の食生活の実態把握
【事前学修】　学校組織における栄養教諭の位置づけについて調べる。　（2時間）
【事後学修】　学校組織の中で栄養教諭が具体的にどのような働きをするかまとめる。　（2時間）
第　4　回　　食に関する指導に係る全体計画の作成
【学修内容】　全体計画の必要性、栄養教諭に期待される役割
【事前学修】　全体計画の必要性について法的根拠について調べる。　（2時間）
【事後学修】　食に関する指導の目標、食育の視点についてまとめる。　（2時間）
第　5　回　　給食時間における食に関する指導
【学修内容】　指導の特徴、生きた教材としての学校給食の活用、給食時間における指導案の作成
【事前学修】　給食を生きた教材として活用するための資料を集める。　（2時間）
【事後学修】　指導案の見直しと媒体の作成　（2時間）
第　6　回　　実践演習Ⅰ
【学修内容】　給食時間における食に関する指導
【事前学修】　給食時間における食に関する指導案や媒体を用い、模擬授業の練習をする。　（2時間）
【事後学修】　授業の中で他の受講生からの意見や注意点をまとめ、指導案の修正を行う。　（2時間）
第　7　回　　実践演習Ⅱ
【学修内容】　給食時間における食に関する指導
【事前学修】　給食時間における食に関する指導案や媒体を用い、模擬授業の練習をする。　（2時間）
【事後学修】　授業の中で他の受講生からの意見や注意点をまとめ、指導案の修正を行う。　（2時間）

授　業　計　画	第 8 回　実践演習Ⅲ 【学修内容】　給食時間における食に関する指導 【事前学修】　給食時間における食に関する指導案や媒体を用い、模擬授業の練習をする。　（2時間） 【事後学修】　授業の中で他の受講生からの意見や注意点をまとめ、指導案の修正を行う。　（2時間） 第 9 回　教科における食に関する指導 【学修内容】　家庭科（教科担任との連携）、特別活動 【事前学修】　食に関する指導に関連付けられる教科等について調べる。　（2時間） 【事後学修】　食に関する指導に関連付けられる教科について学習内容や指導方法についてまとめる。　（2時間） 第 10 回　個別栄養相談・家庭、地域と連携した食に関する指導 【学修内容】　個別相談指導の指導の特徴と指導方法・連携の手順・留意点 【事前学修】　個別栄養相談の意義についてまとめる。　（2時間） 【事後学修】　個別栄養相談指導の特徴と指導方法・連携・留意点についてまとめる。　（2時間） 第 11 回　食に関する指導案の作成 【学修内容】　学級活動における食に関する指導案の作成方法 【事前学修】　食に関する指導のテーマを決め指導案作成のための情報を集める。　（2時間） 【事後学修】　食に関する指導の指導案検討　（2時間） 第 12 回　実践演習 【学修内容】　指導案・教材・板書計画 【事前学修】　指導案の検討と模擬授業に必要な教材の準備　（2時間） 【事後学修】　指導案の検討・板書計画の作成　（2時間） 第 13 回　学校給食管理Ⅰ 【学修内容】　学校給食実施基準 【事前学修】　学校給食実施基準について目を通しておく。　（2時間） 【事後学修】　学校給食実施基準に関する振り返り課題　（2時間） 第 14 回　学校給食管理Ⅱ 【学修内容】　学校給食における衛生管理 【事前学修】　学校給食衛生管理マニュアルについて目を通しておく。　（2時間） 【事後学修】　学校給食衛生管理マニュアルに関する振り返り課題　（2時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　学校栄養指導講義の統括 【事前学修】　講義を振り返り、栄養教諭の役割についてまとめる。　（2時間） 【事後学修】　栄養教諭の資質について理解しこれからの自分の課題について整理する。　（2時間）
評　価　方　法	筆記試験・小テスト（50%）、指導案・模擬授業（30%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	栄養教諭論　理論と実際（金田雅代編著、建帛社） 小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	栄養教諭論Ⅱ・実践研究（金田雅代編著、建帛社） よくわかる栄養教諭～食育の基礎知識～　（藤澤良知 他 編著、同文書院）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育原理	講義	2	選択		必修	1年・後期	布見道子
科目コード　SgZAA10802							担当形態：単独

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）

受講する上での注意事項	栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 教育史及び社会的・制度的・経営的事項を踏まえ、教育の基本姿勢を身に付けること。 栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必須である。
授業の目的・概要	① 教育の基本的概念は何か、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想がどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。 ② 現代の学校教育に関する社会的、制度的又は経営的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識を身に付ける。
到達目標	① 教育の理念とその目的及び意義を理解する。 ② 教育の社会的意義とその必要性を理解する。 ③ 教育が人間の成長と発達に果たす役割を理解する。 ④ 教育は目的や場面に応じ多様な教育活動が必要であることを理解する。 ⑤ 歴史や社会の変化の中で教育が果たす役割を理解する。
授業の進め方	各回でテーマを設定しそれに沿って授業を行う。 授業において、積極的に発言や質問をする等意欲的な取組みの姿勢が求められる。

第　1　回　オリエンテーション /教育とはなにか
【学修内容】　教育の基本原理及び目的と意義について学ぶ
【事前学修】　人間と他の動物の違いについて調べ、なぜ人間には教育が必要なのか考える。（2時間）
【事後学修】　教育の基本原理および目的と意義について復習する。（2時間）
第　2　回　学校の始まり
【学修内容】　古代の社会における教育や学校の役割及び思想について学ぶ
【事前学修】　なぜ学校が必要なのか考える。（2時間）
【事後学修】　古代の社会における教育や学校の役割及び思想について復習する。（2時間）
第　3　回　学校と教育思想
【学修内容】　教育の思想や学校の変遷について学ぶ
【事前学修】　著名な教育の思想家について調べる。（2時間）
【事後学修】　教育の思想家と時代背景についてまとめる。（2時間）
第　4　回　公教育の歴史
【学修内容】　公教育の必要性が生じた時代から現代の教育制度に至る歴史について学ぶ
【事前学修】　フレーベルについて調べる。（2時間）
【事後学修】　公教育の必要性が生じた時代から現代の教育制度に至る歴史について復習する。（2時間）
第　5　回　日本の教育の始まり
【学修内容】　日本における教育や学校の始まりと歴史について学ぶ
【事前学修】　寺子屋について調べる 。（2時間）
【事後学修】　日本における教育や学校の始まりと歴史について、復習する。（2時間）
第　6　回　日本の学校制度
【学修内容】　日本の学校制度の変遷と現在の学校制度について理解する
【事前学修】　近世の教育機関について調べる 。（2時間）
【事後学修】　日本の学校制度の変遷と現在の学校制度について復習する。（2時間）
第　7　回　教育課程の編成
【学修内容】　教育課程編成の目的とその方法を学ぶ
【事前学修】　理想的な学校とは、自分の考えをまとめる。（2時間）
【事後学修】　教育課程編成の目的とその方法について復習する。（2時間）

授　業　計　画	第　8　回　　学力を考える 【学修内容】　急激に変化する現代を生きるための確かな学力の必要性について学ぶ 【事前学修】　急激な社会変化に関わることを調べる。（2時間） 【事後学修】　「確かな学力」とは何か、自分の考えをまとめる。（2時間） 第　9　回　　教師の役割 【学修内容】　子どもの成長と発達に果たす教師の役割について学ぶ 【事前学修】　教師の役割について、自分の考えをまとめる 。（2時間） 【事後学修】　子どもの成長に果たす教師の役割と資質の向上について復習する 。（2時間） 第　10　回　　家庭と地域の役割 【学修内容】　子どもの成長と発達に果たす家庭・地域の役割について学ぶ 【事前学修】　自分が経験してきた地域・家庭との連携活動について調べる。（2時間） 【事後学修】　子どもの成長と発達に果たす家庭・地域の役割について復習する 。（2時間） 第　11　回　　教師の資質能力 【学修内容】　求められる教師像と資質能力の向上について学ぶ 【事前学修】　理想の教師についてまとめる 。（2時間） 【事後学修】　教師の専門性を高めるためには、どのようなことが必要か考える。（2時間） 第　12　回　　特別支援教育 【学修内容】　特別支援教育と障がいについて学ぶ 【事前学修】　さまざまな人間の障がいについて調べる。（2時間） 【事後学修】　特別支援教育と障がいについて復習をする 。（2時間） 第　13　回　　子どもの権利 【学修内容】　子どもの人権を守る世界的な思想を理解するとともに教師の役割について学ぶ 【事前学修】　子どもの権利条約について調べる 。（2時間） 【事後学修】　子どもの人権を守る思想を理解し、教師の役割について復習する。（2時間） 第　14　回　　健康安全教育 【学修内容】　健康安全教育及び健康で安全な学習環境の整備について学ぶ 【事前学修】　学校における健康安全のための教育にはどのようなことがあるか調べる 。（2時間） 【事後学修】　健康安全教育及び健康で安全な学習環境の整備について復習する。（2時間） 第　15　回　　教育課題 【学修内容】　時代や社会の変化に対応する教育活動について学ぶ 【事前学修】　最近の教育活動にはどのようなものがあるか調べる。（2時間） 【事後学修】　これからの国際化・情報化に対応する教育活動について復習する。（2時間）
評　価　方　法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（３０％）、課題取組（意欲・知識・向上心）（５０％）、小テスト（知識・向上心）（２０％）の事項を総合して評価する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	小学校学習指導要領解説総則編（文部科学省　東洋館）
備　　考	実務経験のある教員：札幌市内等の公立学校等における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。